令和５年度

社会福祉法人えどがわ

事務事業計画（案）

つなげよう

みんなの笑顔
みんなの未来

社会福祉法人 え ど が わ

第１号議案

「社会福祉法人えどがわ」は、平成１４年３月、江戸川区内の全私立幼稚園及び全私立保育園の設置者及び園長により設立され、これまで培ってきた経験と英知を集結し、「養護・教育・子育て支援」の三本柱を中心とした保育園運営を行っています。

これからも、江戸川区の子ども達の健やかな成長を目指すとともに、子ども一人一人の個性を尊重しながら、時代に相応しく、子どもを主体とした「おひさま保育園らしい保育」を確立していきます。

＊＊＊＊＊ 基 本 理 念 ＊＊＊＊＊

※平成 30 年の保育指針改定時に全面改訂

おひさま保育園は、養護と教育を一体的に行なう中、子ども一人一人を尊重しながら、生きる力の基礎を身につけ、地域に開かれた子育て支援を展開し、保育園としての社会的役割を果たしていきます。

おひさま保育園らしい表現に見直し中

【養　　護】

安全で快適な環境のもと、子どもの心をしっかりと受け止め、一人一人の発達に応じた適切な援助や関わりにより、豊かで健康な心と身体を育てます。

【教　　育】

身近な環境に関わりながら、子ども主体の多様な遊びや生活を通じて育みたい資質や能力を身につけ、小学校へのスムーズな移行を目指します。

【子育て支援】

すべての子育て家庭を対象に保育園の特性を生かし、地域や他機関との連携及び協働による相談や援助など、地域に開かれた子育て支援を展開します。

＝＝＝＝＝　基　本　方　針　＝＝＝＝＝

現在休止中の民営化や一時保育事業、今後の法人運営の在り方など、江戸川区との協議を進めていくとともに、法人の永続性を更に高めるため下記の取組を積極的に行っていく。

《法人の永続性を高める取組み》

選ばれる保育園づくり

・「子どもの育ち」に必要な保育と「親の期待」に応える保育の両立
・保護者と一緒に考え、一緒に創りあげていく理想の保育の追及
・常に「安全と安心」を第一に考える“おひさま保育園”
　① ハードとソフト両面からの対応
　② ヒヤリハットの各園共有及び分析と活用
・安全安心で快適な保育環境の構成と設定
・園庭や施設環境・給食・絵本・玩具など特色と強みの表現強調
・社会問題を意識した保育園運営（子どもの人権、ＳＤＧｓ、グリーン化、ＤＸなど）
・新しい保育に向けた取組(時代にフィットした保育の提案やサービス)
・施設の大規模改修工事計画の策定(区との協議)

保育の質の向上・学びあう職員の姿

・子どもが自己を発揮し、生活を創り出す力を育む保育
・保育の質の向上を目指す環境構成と設定(物的環境と人的環境)
・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(架け橋期の小学校との連携)

保育を取り巻く環境の変化への対応

・保育士不足や児童虐待など喫緊の課題への対応
・就学前人口(年間出生数80万人以下)と待機児童の減少(待機児童ゼロ)
・在籍率の低下に見合った利用定員への変更
・延長保育利用者の大幅減少と短時間認定児童の増加
・「気になる子ども」と「課題を持った家庭」の増加

中 長 期 的 計 画

職員の資質向上と働き方(働かせ方)の改革

法人への「愛着心」や「思い入れ」

・「求められる職員像」を目指したエンゲージメントの向上
・職場の活性化と職員のやる気の向上
・誰もが「働きやすく」「働き続けたい」と思える職場づくり
・ＩＣＴの積極的活用と効果の還元(成果は保育の質の向上へ)

健 全 財 政 の 堅 持

・予算編成方法(積み上げ方式・枠配方式)と予算執行管理方法の見直し
・利用者の減少や公定価格等の動向などを見極めた財政(中長期)計画の策定
・大規模法人としてのスケールメリットを活かした業務執行
・ＩＣＴ化、業務改善による事務事業の適正化と効率化
・どのような状況でも持続可能な運営ができる新しい運営スタイルの確立

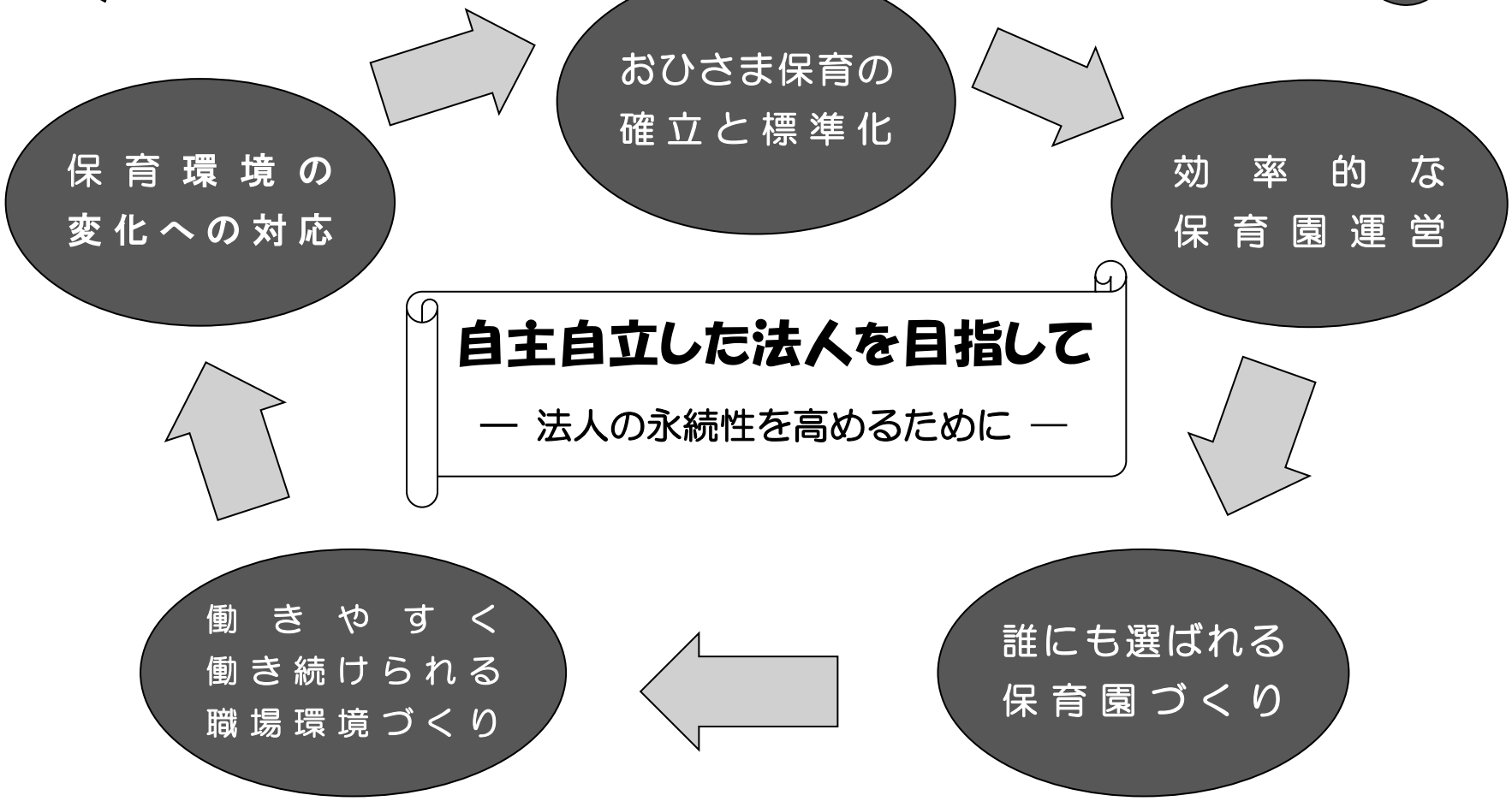
安全安心で快適な保育空間づくり

・老朽化施設等への対応(建替え、大規模改修など区との協議)
・「おひさまの保育」に相応しい保育環境の構成と設定

保育を取り巻く環境の変化への対応

・乳幼児人口や利用者の減少への柔軟な対応
・社会的課題への対応(気になる子、課題を持った家庭、児童虐待など)
・おひさま保育園の標準化
・おひさま保育園らしい保育と「保育の質の向上」
・法人組織力の強化など

令和5年度　社会福祉法人えとがわ事業実施計画（案）



《具体的な取組み方法》

〇おひさま保育の確立と標準化

・保育指針に沿った、子どもを主体とした発達過程に応じた保育の推進
・卒園までに育みたい能力を意識した保育実践と小学校との連携及び円滑な接続
・おひさま保育園らしい保育のあり方研究とその実践　　※コロナ禍保育からの脱却
・子どもにとっての視点を大切にした保育の可視化と言語化
・子どもの健康支援と「食を営む力」（食育）の育成

〇効率的な保育園運営

・おひさまネットワークを活用した情報共有と事務事業の効率化
・ドキュメンテーション管理の研究とペーパレス化（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化・ｵﾝﾗｲﾝ化の研究）
・新しい保育管理システム（双方向）の運用、おひさまＤＸの研究・推進
・予算編成の見直しなどによる内部統制の強化と予算執行管理の適正化

〇誰にも選ばれる保育園づくり

・ブランディングの強化（胸章・スローガンなど）、おひさま保育園の特徴づけ強化
・情報発信の充実（園内情報や求人情報の積極的発信）※ＨＰや新ｼｽﾃﾑの有効活用
・地域に拓かれた保育園づくり（子育てひろばの充実、地域行事への積極的参加など）

〇働きやすく働き続けられる職場環境づくり

・各園の環境や体制に応じた働きやすい職場づくりの推進（ﾉﾝ・ｺﾝﾀｸﾄﾀｲﾑの充実）
・事務負担の軽減対策（現金処理の検討、書類の標準化とシステム化など）
・キャリアパスに繋がる研修と適正な昇給及び公平な昇任選考の実施
・適正な予算執行と資金管理による健全財政の堅持
・現場職員の声を聞く機会の設定（おひさま会との協働）　・職員健康管理の充実

〇保育環境の変化への対応

・就学前人口と利用者減少への対応策（持続可能な新しい保育園運営スタイルの確立）
・社会的課題への対応（虐待、気になる子、課題を持つ家庭、子どもの人権、SDGs、ｸﾞﾘｰﾝ化）
・どんな環境でも持続可能な運営スタイルの確立（人・物・金・情報）

2022年度　社会福祉法人えどがわ　〇〇おひさま保育園　全体的な計画　（ NO.1 ）

基本理念	おひさま保育園は養護と教育を一体的に行う中、子ども一人一人を尊重しながら、生きる力の基礎を身につけ、地域に開かれた子育て支援を展開し保育園としての社会的役割を果たしていきます。					
	養護	安全で快適な環境のもと、子どもの心をしっかり受け止め一人一人の発達に応じた適切な援助や関わりにより豊かで健康な心と身体を育てます。	教育	身近な環境に関わりながら、子ども主体の多様な遊びや生活を通じて育みたい資質や能力を身につけ小学校へのスムーズな移行を目指します。	子育て支援	すべての子育て家庭を対象に保育園の特性を生かし、地域や他機関との連携及び協働による相談や援助など、地域に開かれた子育て支援を展開します。
基本方針	今後も事業拡大が求められる法人として、安定的な運営の基盤である人材・財政の両面にわたった強化を図り、大規模社会福祉法人としての社会的役割を果たしていきます。また今日的な多様な保育ニーズに応えるとともに一人一人の子どもを主体とした発達過程に応じた丁寧な保育を実施することで、更なる保護者の信用と信頼を獲得していきます。(平成30年度法人基本方針より抜粋)					
園の保育目標	・明るく健康で元気な子　　一人ひとりの子どもの置かれている状況を把握し、子どもをあたたく見守り、安定感と信頼感を持って伸び伸び活動出来るようにします。 ・思いやりのある暖かくやさしい子　　みんなで協力しあい、感謝の気持ちを持ち、相手の気持ちを思いやる心が育てられるよう努めます。 ・自己主張ができ最後まで頑張る子　　個性や能力を伸ばす子どが出来る様な様々な活動(音楽・製作・身体表現)を取り入れ、良く見て自分の考えや思いを表現できる力を養っていきます。					

共有すべき事項		5つの領域	3つの柱(資質・能力)	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿
	養護 生命の保持 情緒の安定	健康　人間関係　環境 言葉　表現	(知識及び技能の基礎) (思考力、判断力、表現力等の基礎) (学びに向かう力、人間性等)	健康な心と体　自立心　協同性　道徳性・規範意識の芽生え　社会生活との関わり 思考力の芽生え　自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚　言葉による伝え合い　豊かな感性と表現

保育目標	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	安心できる保育者との関係のもと情緒が安定し、身の回りの事など自分でしようとする気持ちが芽生える。色々な物に興味や関心を持ち、探索活動を十分にし、歩行が完成し、基本的な運動機能が育つ。	自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を身に付ける。自我がよりはっきりしてくるとともに、保育士や友達と関わる中で、自分の気持ちを言葉で伝えやり取りを楽しみ、遊ぶ楽しさを知るようになる。	全身のバランスを取る能力が発達し、体の動きが巧みになる。生活や遊びを通して決まりや約束があることをしり守る。友達と楽しさやぶつかり合いを経験しながら友達との関わりを広げていく。	社会生活に必要な基本的な習慣やルールを身に付ける。色々な経験を通し、自分の思ったこと、感じた事を言葉で伝えたり表現する。活動を通して友達との関わり方を身に付け認め合えるようになる。	自主的に行動し生活習慣を身に付ける。集団生活の中で思考力や認識力を高めると共に、自然現象や社会現象、文字や数への興味・関心を持つ。友達や異年齢児との関わりの中で、思いやりの心を育て協力する態度を身につける。

健康支援	〇年2回内科健診　〇年1回歯科検診　〇健康発達状態の把握　〇身体測定　〇心身状態や家庭生活、養育状態の把握　〇異常が見られた時の対応　〇巡回支援　〇保健ボード掲示
環境・衛生管理	〇職員細菌検査　〇プール管理日誌　〇害虫駆除　〇布団乾燥・洗い　〇砂場消毒　〇安全管理自主点検
安全対策・事故防止	〇避難訓練　〇不審者対応訓練　〇設備点検　〇交通安全指導　〇救命講習会(AED含む)
保護者・地域への支援	〇子育てひろば開催・子育て情報新聞の発行　〇保育所体験　〇実習生・職場体験・ボランティアの受け入れ　〇熟年者との交流　〇育児相談事業
特別な配慮	〇障害や発達上の課題のある子ども、児童虐待等不適切な養育、要支援家庭には区や関係機関と情報提供及び共有や連携体制の構築　〇多様な文化
園長の責務・研修計画質の向上	〇園内研修(保育内容・ケース会議等)　〇園外での研修(江戸川区認可私立保育園園長会主催等)　〇他社の研修に参加　〇法人研修の参加(キャリア別)
小学校との連携	〇保育要録の送付　〇行事見学　〇小学校との連携
特色ある保育	〇法人統一献立による給食　〇専任講師による保育活動　〇延長保育　〇一時保育
食を営む力の育成	〇食育活動(大豆を使った活動としてきな粉作り・みそ作り・クッキング等)　〇食物アレルギー対応　〇食育講話　〇マナー指導　〇サンプル展示
社会的責任	〇人権の尊重　〇説明責任　〇個人情報の保護　〇苦情の処理・解決
評価	〇自己評価　〇園全体での反省(次期の計画へ反映)　〇第三者評価と利用者アンケート

保 育 の 内 容

		年齢	保育所保育指針に定めるねらい	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
養護	生命の保持		①一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。 ②一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ③一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ④一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。	〇家庭と連携を取りながら、一人一人の健康状態や発育・発達状態を把握する	〇運動と休息のバランスが取れる様に配慮する	〇健康状態を把握し、感染症の早期発見に努める	〇気温や活動に応じて自分で衣服の調整を行い、快適に生活できるようにする	〇生活習慣を意識し、健康な生活を送るために必要な習慣を身に付ける
	情緒の安定	持保	①一人一人の子どもが、安定感を持って過ごせるようにする。 ②一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ③一人一人の子どもが周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。 ④一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。	〇興味を持った事や発見した言葉に耳を傾け、些細な事にも成長を認めて自信に繋げていく	〇ひとりで出来た喜びを味わい、自信が持てるようにする	〇一人一人の成長を認めながら満足感を味わったり、自信を持って生活したりできるようにする	〇安心感を持って友達と関われるようにする	〇色々な経験を通し、充実感や自信が持てるようになる
教育	健康	1～2歳	①明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。 ②自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣に気付き自分でしてみようとする気持ちが育つ	〇簡単な身の回りのことを自分でしようとする	〇自分から進んで身の回りの事をしようとする	〇排泄の後始末を保育士の手助けを受けながら、自分でやろうとする	〇基本的な生活習慣を身に付け、見通しを持ちながら、生活し、身の回りの事を進んでする	〇戸外遊びに意欲的に取り組み、友達と一緒に遊びを発展させる 〇自分の体調変化に気づき、保育士に伝える
		3歳以上	①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する。					
	人間関係	1～2歳	①保育所での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。 ②周囲の子ども達への興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。 ③保育所の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。	〇保育士を中心に遊ぶ中で、友達と関わる楽しさを知る 〇伝承遊びの雰囲気を親しみ異年齢児との交流を図る	〇自己主張や葛藤を経験しながら、友達と一緒に過ごすことの喜びを味わう	〇簡単な集団遊びを楽しむ 〇友だちを意識し、グループのルールを守ろうとする	〇順番を守る等ルールを守って遊ぶ楽しさを知る	〇集団生活の中で自己主張をしたり、相手の意見を取り入れたりしながら協力し合う
		3歳以上	①保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。					
	環境	1～2歳	①身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。 ②様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 ③見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。	〇友達の物・個人の物の区別がつくようになり、自分の持ち物を大切にする	〇簡単な数を理解でき、数えられる 〇身近な物や遊具に興味を持ち、工夫して遊ぶ	〇色、形、数、量、上下、大小の違いに気付く 〇様々な用具、材料に触れ、それを使って遊びを楽しむ	〇昆虫や植物に興味を持ち生長や実り、命の大切さに気付く	〇身近に起こる事象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする
		3歳以上	①身近な環境に親しみ自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。					
	言葉	1～2歳	①言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。 ②人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。 ③絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。	〇保育士や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ 〇簡単な言葉で自分の気持ちを伝える	〇色々な経験を通して、イメージや言葉を豊かに表現する	〇ごっこ遊び通して生活に必要な言葉が豊富になる	〇生活の中で、必要な言葉を場面に合わせて使うことが出来る	〇考えたことや感じたことを相手にわかるように話す。また、相手の話の内容を理解し、注意して聞く
		3歳以上	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びをあじわう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ言葉に関する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。					
	表現	1～2歳	①身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。 ②感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。 ③生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。	〇保育士や友達と一緒にごっこ遊びや、表現遊びを楽しむ	〇音楽に合わせて楽しく身体を動かし、のびのびと表現する	〇想像力が豊かになり、作ったり描いたりすることを楽しむ	〇友達を一緒に音に親しみ、楽器遊びを楽しむ 〇劇遊びを楽しみいろいろな役を表現する	〇絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう 〇歌を歌ったり楽器を使ったりしてリズムの変化を楽しむ
		3歳以上	①いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。					
食育			「保育所における食育に関する指針」期待する具体的な育ちの姿として、 ①お腹がすくリズムのもてる子ども ②食べたいもの、好きなものが増える子ども ③一緒に食べたい人がいる子ども ④食事づくり、準備にかかわる子ども ⑤食べものを話題にする子ども	〇食材に興味を持つ 〇特定の大人との食事に慣れる 〇様々な食べ物の味に慣れる 〇食事の時間を喜び、自ら進んで食べようとする 〇挨拶、食具の持ち方、姿勢など色々なマナーがある事を知る	〇意欲的に食べるようになる 〇友達と一緒に食事を楽しむ 〇食べ物の食材や名前に興味を持つ 〇食事のマナーを意識し、守ろうとする 〇最後まで自分で食べようとする	〇食べることの楽しさを知る 〇楽しい雰囲気の中で食事する 〇食事のマナーを守る 〇色々な食材に興味、関心を広める 〇正しい食具の使い方を身につける	〇食べることにより全ての命の大切さを知る〇望ましい食事の態度に気付く 〇栽培を通して食べ物の大切さを知る 〇季節の食材を知る 〇食べ物に対する関心が高まり、自然の恵みに感謝する	〇三色食品群等、食事と栄養のバランスに興味を持ちながら食事をする 〇食事中のマナーを再確認する 〇食べ物と身体の関係に興味を持つ 〇様々な体験を通して食に関する知識を深める〇食べ物の大切さや感謝する気持ちを持ち命の大切さに気付く

社会的責任　　〇人権の尊重　〇説明責任　〇個人情報の保護　〇苦情の処理・解決

2023年度　　社会福祉法人えどがわ　おひさま保育園　全体的な計画　（ NO.1 ）

基本理念	おひさま保育園は養護と教育を一体的に行う中、子ども一人一人を尊重しながら、生きる力の基礎を身につけ、地域に開かれた子育て支援を展開し保育園としての社会的役割を果たしていきます。					
	養護	安全で快適な環境のもと、子どもの心をしっかり受け止め一人一人の発達に応じた適切な援助や関わりにより豊かで健康な心と身体を育てます。	教育	身近な環境に関わりながら、子ども主体の多様な遊びや生活を通じて育みたい資質や能力を身につけ小学校へのスムーズな移行を目指します。	子育て支援	すべての子育て家庭を対象に保育園の特性を生かし、地域や他機関との連携及び協働による相談や援助など、地域に開かれた子育て支援を展開します。
基本方針	保育を取り巻く環境が大きく変化していく中、安定的した保育園運営を行っていくための基盤である人材・財政の両面にわたった強化を図り、大規模社会福祉法人としての社会的役割を果たしていきます。 また、法人の永続性をさらに高めるため　①選ばれる保育園づくり　②保育の質の向上　③今後の環境の変化への対応　の3点を基本とした取組を積極的に進めていきます。(令和5年度基本方針)					
令和5年法人共通取り組み	SDGsを踏まえた「安全で安心な、おいしい給食」の提供		園目標			

共有すべき事項				
	養護 生命の保持 情緒の安定	5つの領域	3つの柱(資質・能力)	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿
		健康　人間関係　環境 言葉　表現	(知識及び技能の基礎) (思考力、判断力、表現力等の基礎) (学びに向かう力、人間性等)	健康な心と体　自立心　協同性　道徳性・規範意識の芽生え　社会生活との関わり 思考力の芽生え　自然との関わり・生命尊重 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚　言葉による伝え合い　豊かな感性と表現

保育目標	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	安心できる保育者との関係のもと情緒が安定し、身の回りの事など自分でしようとする気持ちが芽生える。色々な物に興味や関心を持ち、探索活動を十分にし、歩行が完成し、基本的な運動機能が育つ。	自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を身に付ける。自我がよりはっきりしてくるとともに、保育士や友達と関わる中で、自分の気持ちを言葉で伝えやり取りを楽しみ、遊ぶ楽しさを知るようになる。	全身のバランスを取る能力が発達し、体の動きが巧みになる。生活や遊びを通して決まりや約束があることをしり守る。友達と楽しさやぶつかり合いを経験しながら友達との関わりを広げていく。	社会生活に必要な基本的な習慣やルールを身に付ける。色々な経験を通し、自分の思ったこと、感じた事を言葉で伝えたり表現する。活動を通して友達との関わり方を身に付け認め合えるようになる。	自主的に行動し生活習慣を身に付ける。集団生活の中で思考力や認識力を高めると共に、自然現象や社会現象、文字や数への興味・関心を持つ。友達や異年齢児との関わりの中で、思いやりの心を育て協力する態度を身につける。

健康支援	・子どもの健康状態、発育発達状態を定期的、断続的に把握する。保護者からの情報、保育中の子どもの状態を観察し、異常が認められた時に適切な対応をする。 ○入所時及び年2回健康診断　○年1回歯科検診　○健康発達状態の把握　○身体測定　○心身状態や家庭生活、養育状態の把握　○巡回支援　○保健ボード掲示
環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具などの清掃及び消毒、安全管理及び自主点検を行う。子ども及び職員の清潔の保持と共に、施設内外の保健的環境の維持、向上に努める。 ○職員細菌検査　○プール管理日誌　○害虫駆除　○砂場消毒　○安全管理自主点検 ○手洗いうがいの徹底 ○検温と園内アルコール消毒の徹底　○感染経路対策　○保健保持増進指導
安全対策・事故防止	○保育園内外の安全点検　○通用門の施錠(オートロック完備)　○散歩、園外保育時の対応　○安全対策のための職員の共通理解や体制づくり(救命講習会AED含む) ○交通安全指導　○非常110番通報　○怪我や事故防止対策　○感染症対策○プール、熱中症マニュアルの整備　○投薬管理○食物アレルギーの対応及び訓練 ○避難訓練(火災、地震、水害)　○非常食訓練　○災害伝言ダイヤル訓練　○法人防災総合訓練　○不審者対応訓練　○保育中の人数確認の徹底　○年長児プライベートゾーンの周知
保護者・地域への支援	・日頃の保育の様々な機会を活用し、保育の意図などを伝える事で保護者への説明責任を果たすとともに保護者の思いや考えを理解し、信頼関係を築いていく。 ・子育て相談などを通して、地域の親子に子育て情報や遊びの場を提供し、安心して子育てをおこなえるようにする。　○関係機関との連携 ○アプリにてお便りの提供○保護者参加行事　○子育てひろば開催・子育て情報新聞の発行○保育所体験○育児相談事業　○実習生・職場体験・ボランティアの受け入れ○熟年者との交流
特別な配慮	○障害や発達上の課題のある子ども、児童虐待等不適切な養育、要支援家庭には区や関係機関(江戸川児童相談所・警察)と情報提供及び共有や連携体制の構築 ○ジェンダーや多様な文化(宗教等)への配慮　○SDGsの取り組み
施設長の責務・研修計画 質の向上	<施設長>○社会的責任を遂行するための法令などの遵守　○保育の質及び職員の専門性の向上　○計画的な研修機会の確保 <職　員>○外部研修の参加　○園内研修(法人研修を含む)の充実　○キャリアアップを目的とした研修計画　○保育内容ケース会議その他各種会議の実施
小学校との連携	・小学校との連携を取り合い、学校行事や参加を通して小学校就学への期待が持てるようにする。 ○保育要録の送付　○学校行事見学　○小学校との連携(職員間交流や情報交換)
食を営む力の育成	○食育計画の作成　○食育活動(大豆を使った活動としてきな粉作り・みそ作り・クッキング等)　○食物アレルギー対応　○食育講話　○食事マナーの習得　○サンプル展示 ○給食便りの発行
社会的責任	○社会的責任(児童福祉施設として保育の知識、経験、技術を生かしながら、子育て家庭や地域社会に対しその役割を果たす。)　○人権尊重(保育士は保育の営みが子どもの人権を守るために法的・制度的に裏付けられている事を認識し理解する)　○説明責任(保護者や地域社会と連携や交流を図り、風通しの良い運営をすることで、一方的な説明ではなく分かりやすく対応的な説明をする) ○個人情報の保護(保育にあたり子ども、保護者に関する知りえた情報は正当な理由なく漏らさない。児童福祉法第18条の22)　○苦情の処理・解決(苦情解決責任者である施設長の下に担当者を決め書面における体制を整備する。また、第三者委員を設置する。職員で共通理解を図る)　○地域社会との交流や連携
評価	○自己評価　○園全体での反省（次期の計画へ反映）　○第三者評価と利用者アンケート

保 育 の 内 容

		年齢	保育所保育指針に定めるねらい	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
養護	生命の保持		①一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。 ②一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ③一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ④一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。	○家庭と連携を取りながら、一人一人の健康状態や発育・発達状態を把握する	○運動と休息のバランスが取れる様に配慮する	○健康状態を把握し、感染症の早期発見に努める	○気温や活動に応じて自分で衣服の調整を行い、快適に生活できるようにする	○生活習慣を意識し、健康な生活を送るために必要な習慣を身に付ける
	情緒の安定		①一人一人の子どもが、安定感を持って過ごせるようにする。 ②一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ③一人一人の子どもが周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。 ④一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。	○興味を持った事や発見した言葉に耳を傾け、些細な事にも成長を認めて自信に繋げていく	○ひとりで出来た喜びを味わい、自信が持てるようにする	○一人一人の成長を認めながら満足感を味わったり、自信を持って生活したりできるようにする	○安心感を持って友達と関われるようにする	○色々な経験を通し、充実感や自信が持てるようになる
教育	健康	1～2歳	①明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。 ②自分の体を十分に動かし、様々な動きをしようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣に気付き自分でしてみようとする気持ちが育つ	○簡単な身の回りのことを自分でしようとする	○自分から進んで身の回りの事をしようとする	○排泄の後始末を保育士の手助けを受けながら、自分でやろうとする	○基本的な生活習慣を身に付け、見通しを持ちながら、生活し、身の回りの事を進んでする	○戸外遊びに意欲的に取り組み、友達と一緒に遊びを発展させる ○自分の体調変化に気づき、保育士に伝える
		3歳以上	①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する。					
	人間関係	1～2歳	①保育所での生活を楽しみ、身近な人と関わる心地よさを感じる。 ②周囲の子ども達への興味や関心が高まり、関わりをもとうとする。 ③保育所の生活の仕方に慣れ、きまりの大切さに気付く。	○保育士を中心に遊ぶ中で、友達と関わる楽しさを知る ○伝承遊びの雰囲気を親しみ異年齢児との交流を図る	○自己主張や葛藤を経験しながら、友達と一緒に過ごすことの喜びを味わう	○簡単な集団遊びを楽しむ ○友だちを意識し、グループのルールを守ろうとする	○順番を守る等ルールを守って遊ぶ楽しさを知る	○集団生活の中で自己主張をしたり、相手の意見を取り入れたりしながら協力し合う
		3歳以上	①保育所の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。					
	環境	1～2歳	①身近な環境に親しみ、触れ合う中で、様々なものに興味や関心をもつ。 ②様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 ③見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。	○友達の物・個人の物の区別がつくようになり、自分の持ち物を大切にする	○簡単な数を理解でき、数えられる ○身近な物や遊具に興味を持ち、工夫して遊ぶ	○色、形、数、量、上下、大小の違いに気付く ○様々な用具、材料に触れ、それを使って遊びを楽しむ	○昆虫や植物に興味を持ち生長や実り、命の大切さに気付く	○身近に起こる事象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする
		3歳以上	①身近な環境に親しみ自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。					
	言葉	1～2歳	①言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。 ②人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。 ③絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。	○保育士や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ ○簡単な言葉で自分の気持ちを伝える	○色々な経験を通して、イメージや言葉を豊かに表現する	○ごっこ遊び通して生活に必要な言葉が豊富になる	○生活の中で、必要な言葉を場面に合わせて使うことが出来る	○考えたことや感じたことを相手にわかるように話す。また、相手の話の内容を理解し、注意して聞く
		3歳以上	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びをあじわう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ言葉に関する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。					
	表現	1～2歳	①身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。 ②感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。 ③生活や遊びの様々な体験を通して、イメージや感性が豊かになる。	○保育士や友達と一緒にごっこ遊びや、表現遊びを楽しむ	○音楽に合わせて楽しく身体を動かし、のびのびと表現する	○想像力が豊かになり、作ったり描いたりすることを楽しむ	○友達を一緒に音に親しみ、楽器遊びを楽しむ ○劇遊びを楽しみいろいろな役を表現する	○絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう ○歌を歌ったり楽器を使ったりしてリズムの変化を楽しむ
		3歳以上	①いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。					
食育			「保育所における食育に関する指針」期待する具体的な育ちの姿として、 ①お腹がすくリズムのもてる子ども ②食べたいもの、好きなものが増える子ども ③一緒に食べたい人がいる子ども ④食事づくり、準備にかかわる子ども ⑤食べものを話題にする子ども	○食材に興味を持つ ○特定の大人との食事に慣れる ○様々な食べ物の味に慣れる ○食事の時間を喜び、自ら進んで食べようとする ○挨拶、食具の持ち方、姿勢など色々なマナーがある事を知る	○意欲的に食べるようになる ○友達と一緒に食事を楽しむ ○食べ物の食材や名前に興味を持つ ○食事のマナーを意識し、守ろうとする ○最後まで自分で食べようとする	○食べることの楽しさを知る ○楽しい雰囲気の中で食事する ○食事のマナーを守る ○色々な食材に興味、関心を広める ○正しい食具の使い方を身につける	○食べることにより全ての命の大切さを知る○望ましい食事の態度に気付く ○栽培を通して食べ物の大切さを知る ○季節の食材を知る ○食べ物に対する関心が高まり、自然の恵みに感謝する	○三色食品群等、食事と栄養のバランスに興味を持ちながら食事をする ○食事中のマナーを再確認する ○食べ物と身体の関係に興味を持つ ○様々な体験を通して食に関する知識を深める○食べ物の大切さや感謝する気持ちを持ち命の大切さに気付く

社会的責任　○人権の尊重　○説明責任　○個人情報の保護　○苦情の処理・解決

事務事業執行状況
令和5年度　事務事業計画
（案）

みんなの笑顔
みんなの未来

社会福祉法人えどがわ

策　定：令和4年 12 月

【会　議】

(1)評議員会・理事会

・評議員会運営規程及び理事会運営規程に基づき、議案の審査及び決議を行う。

会　議　名	令和３年度実績	令和４年度見込	令和５年度計画
定例評議員会	４回	４回	４回
定例理事会	５回	５回	５回
臨時会	未開催	未開催	予定なし
主な議案	・６月期　① 事業報告　② 決算認定 ・９月期　① 事業中間報告　② 補正予算 ・12 月期　① 事業計画　② 給食事業者選定 ・３月期　① 当初及び補正予算		

(注)全期……必要に応じて規程関係及び補正予算あり

(2)幹事会・各園長会

・組織規程に基づき諸会議を開催する。

会　議　名	開　催　日	参　加　メ　ン　バ　ー
幹事会	毎月第一木曜日の午後	局長・次長②・監事園長②
園長会	毎月第二木曜日の午後	局長・次長②・全園長
チーム園長会	毎月第四木曜日の午後	３チームごと又は全体会として開催

【人事厚生関係】

(1)総職員数

・各園最低１人の増員となるように、採用及び離職防止に努力する。

区　分	令和３年度当初	令和４年度当初	令和５年度計画
採用職員数	４４１人	４４０人	４６３人
採用	５８人	４２人	目標　＋２３人
退職	△３７人	△４３人	
増減	＋２１人	△１人	

(2)採用職員

・例年同様に８月より毎月１回の採用選考を実施、人材紹介会社の活用も継続していく。

区　分		令和３年度実績	令和４年度見込	令和５年度計画
採用職員数		５８人	４３人	※採用目標 退職者＋23 人
	４月１日採用	５３人	３７人	
	年中採用	５人	６人	
	うち学卒者	３２人	２３人	
	うち経験者	２６人	２１人	
	うち男性	５５人	３９人	
	うち女性	３人	４人	

(3)退職職員

区　　分		令和３年度実績	令和４年度見込	令和５年度計画
退職職員数		４３人	未　定	※退職見込 30 人程度
	年度末退職	３３人	未　定	
	年中退職	１０人	未　定	

(4)職員の任命(昇任)

・公平公正な選考を心掛けるとともに、引続き副主任昇任選考は筆記選考とする。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度計画
園長昇任	０人	０人	※副主任昇任選考 12 月に筆記選考 ※他は勤務実績等による内部選考 ※副主任昇任選考受験予定者 28 人 選考日 12 月 13 日
副園長昇任	３人	０人	
主任昇任	３人	４人	
副主任昇任	４人	８人	
(受験該当者)	(８２人)	(９１人)	
(受験者)	(１１人)	(２４人)	
上級職昇任	２６人	２７人	

(5)職員健康診断

・可能な限り拠点によるバス健診を継続するが、将来は全職員のセンター健診としたい。

区　　分	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
受診者数	６０５人(100.0%)	５８１人(100.0%)	※拠点園方式 (5 拠点)にて実施
所見あり	３１５人(52.1%)	３１４人(54.0%)	
再検査	１９８人(32.7%)	２０９人(36.0%)	
精密検査	９１人(15.0%)	１００人(17.2%)	

(6)ストレスチェック　・引続き実施し、健康リスクの低減を図る。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
量・コントロール	１０９	１０８	１０５	※令和５年秋 実施予定
職場の支援	９８	９９	９１	
総合健康リスク	１０６	１０６	９５	
最大健康リスク園	１３５	１３９	１２３	
最小健康リスク園	７７	７６	７８	

(7)法人独自加入保険給付　・職員にとって更に有益な保険等はないか研究・検討を進める。

区　　分		令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
施術給付		５件	１件	※例年同様の保険に加入予定
	給付額	747,180 円	18,750 円	
ケガ給付		３件	１件	
	給付額	225,130 円	250,000 円	
コロナ		７３件	６９件	
	給付額	655,140 円	564,525 円	

(8)傷病手当金申請数

・申請漏れなどの確認を行うとともに、適正な申請を行っていく。

区　　分		令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
正規職員申請		４人	６人	※適正な申請に務める
	延申請件数	１１件	１７件	
非常勤申請		２人	２人	
	０件	４件	１１件	

(9)居住地の状況(住民税納付場所)

・納税責任を果たしていく。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
江戸川区	３６５人	３７１人	４３０人	※居住自治体に適正に納付する
江東区	１０人	１４人	１１人	
葛飾区	１６人	１６人	１６人	
他区	９人	１０人	９人	
千葉県	50人	４３人	４２人	
埼玉県	１人	３人	２人	
その他	０人	１人	０人	

(10)産休者・育休者及び短時間勤務者・固定勤務者

・制度周知を進めるとともに、更に使いやすい制度改正や新制度創設の研究を進める。

区　　分		令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
総職員数		４２１人	４３８人	４３９人
	産育休者	３２人	３８人	３８人
	産育休割合	７．６％	８．７％	８．７％
短時間･固定勤務者		２７人	２８人	３７人

(11)介護休業者

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
総職員数	１人	０人	０人

(12)住宅借上げ利用状況

・社宅である旨の制度周知をするとともに、必要な届出等を勧奨していく。

区　　分		令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度当初申請
利用職員数		１４４人	１６６人	１６２人
事業費	賃借料	125,689,833円	144,430,879円	162,801,000円
	共益費等	6,848,100円	8,135,514円	9,342,800円
	総支出額	132,537,933円	152,566,393円	172,143,800円
財源	補助金	106,602,000円	118,740,000円	131,006,000円
	本人負担額	10,679,800円	16,802,800円	22,401,800円
	法人負担額	15,256,133円	17,023,593円	18,736,000円

【給与関係】

(1)例月支給額

・誤支給等が無いように勤怠情報等の確認を園と本部で適正に行う。(注)各年度４月分支給実績

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
総支給人数	396 人	421 人	415 人
給　　料	89,842,200 円	95,194,700 円	94,858,700 円
調整手当	10,781,064 円	11,423,364 円	11,383,044 円
処遇改善手当(率)	6,225,896 円	6,653,236 円	6,587,014 円
処遇改善手当(定額)	7,280,000 円	7,740,000 円	11,695,000 円
役職手当	4,576,490 円	4,658,750 円	4,807,935 円
総支給額	118,705,650 円	125,670,050 円	129,331,693 円
平均支給額	299,762 円	298,504 円	311,642 円

※令和４年２月より新処遇改善手当(月額１万円)を支給

(2)平均年収

・公定価格や各種補助金の増減に連動した給与体系を確立していく。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
全　平　均	4,689,770 円	4,670,966 円	4,840,509 円

(3)期末勤勉手当支給月数

・規程上の成績給支給が可能となるように、管理職評価基準の適正化を進める。

区　　分		令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
６月	期末手当	１．０月	１．０月	１．０月
	勤勉手当	０．８月	０．８月	０．８月
12 月	期末手当	１．０月	１．０月	１．０月
	勤勉手当	１．０月	１．０月	１．０月
３月	勤勉手当	０．５月	０．５月	０．５月
計	期末手当	２．０月	２．０月	２．０月
	勤勉手当	２．３月	２．３月	２．３月
	計	４．３月	４．３月	４．３月

(注)H29 年４月に支給月数+0.１月、R2 年４月に期末･勤勉の支給割合変更

【規程類関係】

(1)新規制定及び改正

・法律の新設及び改正や法人の必要性に応じて規程類の新設・改正・廃止を行う。

区　分	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
新　　設	・公益通報者の保護に関する規程	・育児・介護休業等に関する規程 ・ハラスメント防止規程 ・個人情報保護に関する基本方針 ・個人情報保護規程	※必要に応じて新設及び改正を行う
改　　正	・就業規則(特別休暇) ・非常勤賃金(最低賃金)	・非常勤賃金(最低賃金)	

【研修関係】

(1)法人必修研修

・法人研修計画(キャリアアップ計画)に従って職層別に実施する。

区　分	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
新　　任	・チームで働く力 ・チームでのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ・参加者数　67 人	・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝのﾎﾟｲﾝﾄ ・前向きに業務に取組むために ・参加者数　20 人	※研修計画に従って実施する
一　　般 (1～4 年目)	・職場でできる“協力” ・参加者数　172 人	・若手に求められる 3 つのｽｷﾙ ・前向きに業務に取組むために ・参加者数　102 人	
一　　般 (5 年目以降)	・職場でできる“協力” ・参加者数　171 人	・保育と玩具について ・保育の環境づくり ・参加者　90 人予定	
リーダー	・職場でできる“協力” ・職場でできる“貢献” ・参加人数　158 人	・気になる子の発達支援 ・参加者　80 人予定	
副 主 任	・副主任の役割とは ・信頼マネジメント ・参加者数　101 人	・副主任としての役割を考える ・前向きに業務に取り組む為に ・参加者数　54 人	
副園長 主　　任	・メンバーについて考える ・自分について考える ・参加者数　63 人	・子どもの心を育てる　アタッチメントの大切さ ・参加者数　34 人	
管 理 職	・自己評価のあり方 ・ガイドラインについて ・参加者数　25 人	・子どもの心を育てる　アタッチメントの大切さ ・参加者数　25 人	

(2)東京都・江戸川区キャリアアップ研修

・職層に応じた国の研修基準であり、法人も国基準に準拠して受講を進めていく。

区　　分	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
マネージメント	受講者　２２人	受講者　７人	※副主任(ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ＋３講座)、上級職１講座の受講を目指す
乳児保育	受講者　６人	受講者　１０人	
幼児教育	受講者　３人	受講者　５人	
障害児	受講者　９人	受講者　９人	
食育・ｱﾚﾙｷﾞｰ	受講者　２人	受講者　３人	
保健衛生・安全	受講者　２人	受講者　１人	
保護者･子育て支援	受講者　４人	受講者　６人	

(3)外部研修及び園内研修等

・外部研修の活用や法人が時代に応じた研修テーマと講師を選定して実施していく。

区　　分	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
外部研修	･防災研修(江戸川区) ･新人保育士(江戸川区) ･衛生推進者(労基連合) ･ﾘｰﾀﾞｰ研修(私保園長会) ･危機管理(私保園長会) ･発達支援(江戸川区)	･防災研修(江戸川区) ･新人保育士(江戸川区) ･衛生推進者(労基連合) ･ﾘｰﾀﾞｰ研修(私保園長会) ･危機管理(私保園長会) ･発達支援(江戸川区)	防災研修(江戸川区) ･新人保育士(江戸川区) ･衛生推進者(労基連合) ･ﾘｰﾀﾞｰ研修(私保園長会) ･危機管理(私保園長会) ･発達支援(江戸川区)
園内研修	･ＡＥＤ研修 ･嘔吐処理券集 ･不審者対応研修 ･パソコン研修 ･各園に応じた研修	･ＡＥＤ研修 ･嘔吐処理券集 ･不審者対応研修 ･パソコン研修 ･各園に応じた研修	･ＡＥＤ研修 ･嘔吐処理券集 ･不審者対応研修 ･パソコン研修 ･各園に応じた研修
その他研修	･職層別研修(法人) ･給食研修(法人) ･ＰＣ研修(法人) ･気になる子研修(法人) ･交流研修(法人)	･職層別研修(法人) ･給食研修(法人) ･ＰＣ研修(法人) ①ＰＣ操作等 ②ｳｪﾙｷｯｽﾞ捜査等	･職層別研修(法人) ※以下、計画予定

【財務関係】

(1)予算計上状況

・年度間予算を当初計上し、必要に応じて過不足の補正予算を計上する。

区分		令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
収入	当初予算	5,098,844 千円	4,707,228 千円	※見込める収入を的確に把握し、年間運営に必要な経費を予算計上する
	補正１号	△57,165 千円	29,340 千円	
	補正２号	22,980 千円		
	補正３号	58,510 千円		
	最終予算額	5,123,169 千円		
支出	当初予算	5,172,398 千円	4,573,724 千円	
	補正１号	147,740 千円	102,978 千円	
	補正２号	30,795 千円		
	補正３号	27,584 千円		
	最終予算額	5,378,517 千円		
差引	当初予算	△73,554 千円	133,504 千円	
	補正１号	△204,905 千円	△73,638 千円	
	補正２号	△7,815 千円		
	補正３号	30,926 千円		
	最終予算額	△255,348 千円		

(注)令和３年度予算…基金の積みなおしを実行

(2)決算状況

・決算調整後に様々な分析を行い、当初予算編成や健全財政維持に活用していく。

区分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度
収入総額	5,150,202,667 円	4,869,254,102 円	※令和５年６月評議員会にて認定
支出総額	5,245,505,494 円	5,024,012,772 円	
収支差額	△95,302,827 円	△154,758,670 円	
実質収支差額	364,697,173 円 ※積立 460,000,000 円	55,241,330 円 ※210,000,000 円 他に大規模改 205,000 千円	

(3)積立金の状況

・不測の事態や将来のために適正な範囲で資金積立を行う。

区分		令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度
前期末積立金		1,613,145,920 円	2,082,000,000 円	※決算を見込み必要に応じて積立・取崩し
今期増減	積立金	468,854,080 円	210,000,000 円	
	取崩し	0 円	△218,000,000 円 ※3 園大規模改修工事費充当	
今期末積立金		2,082,000,000 円	2,074,000,000 円	

(4)財務分析

・決算調整後に様々な分析を行い、当初予算編成や健全財政維持に活用していく。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度
流　動　比　率	２４０．３％	２１５．４％	※令和５年６月 評議員会にて認定
純　資　産　比　率	８１．５％	８３．７％	
人　件　費　率	６０．２％	６２．３％	
委　託　費　率	１０．３％	１０．８％	
人件費率＋委託費率	７０．３％	７３．１％	
固定長期適合率	８３．３％	８３．３％	
計上活動収支差額率	８．９％	５．３％	
労　働　分　配　率	７８．８％	８２．７％	

(5)仮払い・小口現金

・必要最低限な現金管理となるように各園と協議の上、改善を図っていく。

区　　分		令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度(12 月)
仮払い	執　行　件　数	１４９件	１８５件	１４６件
	執　　行　　額	2,569,674 円	2,547,400 円	2,477,023 円
	1　件　単　価	17,246 円	13,770 円	16,966 円
小口現金	執　行　件　数	８１件	６９件	５１件
	執　　行　　額	3,370,000 円	2,846,000 円	2,282,000 円
	1　件　単　価	41,605 円	41,246 円	44,745 円

【監査関係】

(1)江戸川区指導検査

・江戸川区児童福祉施設等指導検査実施要綱に基づき毎年全園が検査を受ける。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度
実　施　園　数	未　実　施	予　定　１５園 実　施　　４園	※全園実施予定 12 月 12 日～ 1 月 27 日
指　摘　事　項		指　摘　　１園 毎月の消火訓練	
備　　考		令和４年１月実施 ※コロナにより中断	

(2)法人巡回監査

・会計処理の適正化や財務規律の強化を図るため年２回、全園巡回監査を実施する。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度
第　一　回　目	9 月 24 日～10 月 15 日	9 月 27 日～10 月 18 日 (注)ｺﾛﾅのためｵﾝﾗｲﾝ監査	10 月 3 日～10 月 19 日
第　二　回　目	12 月 1 日～12 月 7 日 (注)ｺﾛﾅのためｵﾝﾗｲﾝ監査	11 月 15 日～12 月 15 日 (注)ｺﾛﾅのためｵﾝﾗｲﾝ監査	11 月 15 日～12 月 13 日
主な調査内容	・固定資産関係 ・クオカード､切手保管 ・小口現金、公印管理	・苦情処理、標準化 ・おひさまの魅力発信 ・勤務シフト(超過勤務)	※現在実施中

(3)会計監査人監査

・年１回の決算期に法定監査人である会計監査人監査を受け、評価を得る。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
実　施　状　況	令和 2 年 5 月 21 日 延４９日	令和 3 年 5 月 21 日 延４４日	令和 4 年 5 月 20 日 延４４日
監　査　結　果	無限定適正	無限定適正	無限定適正
備　　考	令和元年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度決算

(4)監事監査

・年１回の決算期に法人監事の監査を受け、評価を得る。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
実　施　状　況	令和 2 年 5 月 21 日	令和 3 年 5 月 24 日	令和 4 年 5 月 23 日
監　査　結　果	正しいと認める	正しいと認める	正しいと認める
備　　考			

【保育園運営】

(1)年齢別在園児数(年度当初)

・地域の保育ニーズ、施設現況及び配置職員等を勘案し適正な利用定員を設定していく。

区分		令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
利用定員		２,９１２人	２,９１２人	２,８７１人
在籍状況	１歳児	４９６人	４８４人	４８３人
	２歳児	５６０人	５５３人	５４２人
	３歳児	６１８人	５７１人	５５３人
	４・５歳児	１,２８１人	１,１９１人	１,１６０人
在籍児童の計		２,９１２人	２,７９９人	２,７３８人
児童在籍率		９８.３％	９６.１％	９５.４％

(2)特別保育事業(年度当初)

・課題となっている延長保育の利用者減と一時保育の再開について研究・検討を進める。

区分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
延長保育	３２１人	２４８人	２０１人
一時保育	※平成 30 年より休止中		

(3)アレルギー食と宗教食

・医師の指示書により適正な提供を心掛ける。　(注)カッコ内は在籍割合

区分		令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
アレルギー食提供		１２６人(4.40%)	１１１人(3.97%)	８３人(3.03%)
	うち弁当持参	２人	１人	１人
宗教食提供		８人(0.28%)	９人(0.48%)	１４人(0.51%)
	うち弁当持参	０人	１人	４人
計		１３４人(4.68%)	１２０人(4.45%)	９７人(3.54%)
投薬のため除去提供		２人	０人	１人
家庭の事情		０人	１人	０人
障害児(ダウン症)		２人	０人	０人

(4)障がい児保育と気になる子　(注)カッコ内は在籍割合

区分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績
障がい児(認定児)	６７人(2.34%)	７８人(2.79%)	７３人(2.67%)
気になる児童	３６人(1.26%)	３８人(1.36%)	６７人(2.44)
計	１０３人(3.60%)	１１６人(4.15%)	１４０人(5.12%)

⑸第三者評価と利用者調査の実施状況

・3年毎に第三者評価、利用者調査は毎年実施し、保育の質の向上を図る。

区　　分	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度計画
第三者評価	５園	１１園	７園	５園
利用者調査	１８園	１２園	１６園	１８園
平均満足度	９３．６％	９２．８％	集計中	未実施

（注）満足度は、五段階評価の「大変満足」と「満足」を加算した率

以下、必要に応じて追加・修正・削除をしていきます。

令和5年度　　葛西　おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	
認 可 定 員	20	24	35	70		149	
受入れ可能※	20	24	30	30	31	135	※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

＜子ども達が食べる事や色々な食べ物に興味を持てるよう、年間を通し計画を立て食育活動の充実を図る＞
・野菜、果物、魚等、本物に触れる経験を企画。・年間を通して夏野菜等の栽培、収穫、実食の経験
・食育活動を様々な方法で発信。・食育に関する絵本の充実・図鑑・郷土料
・歌や体操、クイズ等を行い楽しむ
・正しい食事のマナー、食具の7持ち方を知る。・1年間の取り組みをドキュメンテーションにしていく。
・給食の試食会を再開（保護者の感想を聞く）

2. 保育園目標

・明るく、健康で、挨拶がはきはきできる子
・思いやりのある優しい心を育む
・感性を大切にし、伸びやかに表現しようとする子
・心身の発達を見守りながら、身体機能の発達を目指す

上記について、1年間の具体的な取り組み

・職員自ら率先し明るく笑顔で、保護者にも子どもにも丁寧な挨拶を行い見本・手本となっていく
・一人一人との関わりを大切にし、生活や遊びを見守る中で丁寧な援助をしていく
・子ども自身の思いや行動を認め、言葉で表す。
・丁寧に関わる保育を行い、相手を思いやれる気持ちを育てる
・和太鼓、リトミック、英語を体験し、感じたことや思っている事を表現できるよう工夫をしていく
・日々の保育の中にリズム遊びや体操を取り入れる。廃材あそびを継続。
・各クラス、週案の中で体を使った運動遊びや散歩等（自然に触れる機会）を取り入れていく

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・食育（食品ロス）への取り組みに職員一人ひとりが考え実行していく。
・家庭との連携をこまめに行い家庭支援に努める。（にコミュニケーションをとり信頼関係を築いていく）
・園内の環境整備・整理整頓を実施。子ども達が快適に過ごせる様、季節ごとに玩具の入れ替える。
・保育以外の業務の簡素化を図る。
・子どもの「やりたい・したい」興味関心を引き出し、日常のあそび中で豊かな経験が味わえるよう工夫する。
・月に2回の子育てひろばを開催していく。内容がマンネリ化しないように工夫し、近隣の方と子育ての悩みを聞き、1・2歳児を対象として親子で楽しめるものなどを取り入れ充実させていく

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み（利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて）

・お迎えの際の職員からの伝達で子どもの様子についての声かけが無い日もあるという指摘に対し、職員会議を通し忙しくてお迎えが重なってしまっても全職員子どもの様子を伝えていくよう心掛ける。
・正門の内鍵をしてない、開けたままの状態があり危険と指摘。周知し、門前で声かけをし徹底する
・職員の仕事量が多い、休憩がとれない、人員不足、職員の呼び捨て、職員のスキルの差、子どもの定員の見直し、等があげられた。仕事量については係りの業務の見直しを行い負担を減らす。
休憩は早番休憩や遅番休憩等少しでも多く休憩がとれるよう工夫し、職員の呼び捨てはしない様注意。早急に時間を設け職員の生の声を聞き改善をする。子どもの定員については、5年先10年先を見据えて考える。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果（具体的に）

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果（具体的に）
・ 幼児クラス（5歳・机）	・劣化の為更新
・ 砂場用収納棚	・開園当初から使用。さびもひどく劣化の為更新

令和5年度　　新堀 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	20	23	23	46		112
受入れ可能※	20	23	23	23	23	112

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・お盆や年末年始の長期休みの際には休みを確認し給食発注など無駄が無い様にする。
・サンプルケースに当日の給食食材の紹介を行い子どもたちに興味関心を持てるようにする。
・検食やアレルギー食のチェックを今後もしっかり行っていく。

2. 保育園目標

・健康で明るく元気な子　　・感性豊かで自分を表現できる子　　・思いやりのある優しい子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・日常的に身体を十分に動かせる運動遊び、リズムあそび、戸外遊びなどを取り組んで行く。
・保育環境を常に見直し、子どもが興味を示し、十分に遊び込めるような玩具・教材・廃材など用意しておく。
・四季の移り変わりや、様々な素材に触れ色々な事に子どもたちの関心が持てるような保育活動を展開する。
・日常の保育の中で、温かい言葉や嬉しい気持ちに触れられるよう意識し声掛けに配慮する。また、園内研修を行い保育の振り返り、保育士自身の振り返りに繋げていく。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・保育の質の向上と保育士の感性を養う為、今後も園内研修に取り組んで行く。
・気付いたこと、感じたことは保育園を良くするために開けた場所（職員会議など）で声をあげ改善していく。
・期毎に保育環境を見直し、必要な環境設定、教材など常に意識して用意をしておく。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み（利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて）

・お迎えの際の伝達内容が薄く指摘が多かった点に関して、前年度、職員会議を通し「伝達＋子どもの様子」を職員間で取り組んできたが、取り組みに対して「先生による」という答えが多くあがった。職員全員が「伝達+子どもの 様子」を伝えられるように引き続き取り組んで行く。
・「園への苦情や要望を伝える際に、外部苦情窓口にも相談できること」について保護者への周知が不十分であるため苦情解決制度の文章など掲示や発信を再度取り組んで行く。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果（具体的に）

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果（具体的に）
・遊戯室音響	・遊戯室音響に不具合が生じている為更新。

令和5年度　東小松川 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	12	18	22	48		100
受入れ可能※	17	22	23	24	24	110

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

・本物の食材を手に触れさせたり栄養素について絵本や図鑑等、教材を通して皆で調べたりし食の大切さを伝える。
・自分から食べたいと思う様に保育士の言葉掛け(魔法の言葉)を配慮して行う。
・アレルギー食の提供は複数の職員で確実に確認をし、誤食のないように努める。
・給食業者と栄養士と職員が関わり、食への関心を持ち提供する方たちに感謝の気持ちが持てるようにする。
・昨年に引き続き「空っぽ大作戦」子どもからの発信があったら行う(残食入れのバケツを空っぽにする等)
・食育等ブログにあげ保護者に知らせ理解してもらう。

2. 保育園目標

・明るく、健康で、挨拶がはきはきできる子
・思いやりのある優しい心を育む
・感性を大切にし、伸びやかに表現しようとする子
・心身の発達を見守りながら、身体機能の発育を目指す

上記について、1年間の具体的な取り組み

・乳児保育の土台作り一人一人に合わせた丁寧な関わりをしっかり作る。一人ひとりの発達の理解をクラスで共有する。
・生活時間に応じて遊び・食事・睡眠を一人ひとりに合わせた生活の流れと関わりによる愛着形成を確立
・幼児保育の主体的に考えられる経験や環境を保持していく。玩具に関していつでも取り出せる環境作りを職員全員で把握し共有する。
・安心して心地よく遊べる保育を心がける。

保育目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・クラス全員で一人一人にどのように関わっていくか話し合う。(月齢・発達等)
・生活の中で丁寧に関わりどのように愛着形成に繋げるか話し合う。
・玩具等の環境設定を考え主体的に遊べて作り出せる環境をみんなで考える。(昨年同様竹馬やカプラ等)
・保育活動の中、玩具や場所の安全確認・見直しをする。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・職員が組織の中で報告・連絡・相談・挨拶をきちっと出来るようにする。
・園庭門の開閉時の鍵について安心できないとの事、雨の日など開けながらの自転車で入るので安全ではない。(ドアの鍵門の改修予算相談)
・様々な、保育園活動、行事の変更に対して、保護者等に、丁寧に説明をし、理解を求める。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・幼児トイレ便座の更新 ・緑道門入口ドアの交換	・保育環境改善の為、温便座に交換　更新 ・保育園の安全の為、園庭入口の扉が歪みの為更新

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・園庭用砂場セット片付け棚	経年劣化の為更新

令和5年度　　鹿骨 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	26	28	31	65		150
受入れ可能※	26	28	28	26	28	136

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

必要な栄養バランスの取れた献立を基本に、食に興味を持ち、食べることの楽しさと生産者への感謝の気持ちに気付けるよう取り組みを進める。
・野菜の栽培、味噌作り等で食べ物を作る工程を知り、発見したり五感を感じながら食育活動を楽しむ。
・必要な栄養素を知り、体の中でどのような役割をするのか理解に繋げる。
・楽しい環境の中で食事を進め、自らが食べたいと思えるような働きかけをする。
・健康に生活できる持続可能な未来へ、園児・職員一人一人が意識した行動を心掛ける。

2. 保育園目標

・健康で明るく元気に遊べる子
・豊かな心を育み　素直に表現出来る子
・友達を大切にし 何事にも協力できる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・健康的に生活する為に、体操・リズム・外遊び・散歩等、全身を使って伸び伸び遊ぶ環境を整える。又、自分の身体を知り、必要な栄養などに興味を持ち、食育を通して元気に遊べるよう働きかける。
・四季、自然に触れながら、見たり感じたりした事を表現できる機会を多く持てる様、戸外活動を活発にしたり散歩を強化し、健康に過ごす。
・異年齢児交流を通して年齢の違いに気付き、他者への思いやりの気持ちを育み、友達や自分を大切にする。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・子ども一人一人に寄り添い、安心して生活できるよう環境を整える。
・保護者支援を通して、信頼関係を築く。
・園内研修において保育環境・安全管理・人権擁護について共通理解を深めると同時にスキルアップを図る。
・子どもの思いやりの気持ちを育む為に、まずは職員同士がお互いを思いやる姿を示していく。
そのためのコミュニケーション、チームワークを意識し、挨拶・笑顔・感謝の気持ちを声にして伝え、協力的な風土を
作る。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・通用門の不具合による安全管理の不安。改修を繰り返し、電気施錠がしっかりと閉まるよう調整したが、扉の歪みや経年劣化ですぐにずれてしまい微調整が必要となった。門自体は十分に使用できるので、丁番などの交換や歪みの調整など専門業者と相談し、オートロック機能が果たせるように改善する。
・コロナ禍での行事の減少。行事や異年齢児交流など感染対策をしながら通常に戻し、友達との関わりを深める。保護者が保育園の活動に理解が深められるよう、行事や伝え方等工夫し、保護者理解を深める。
・休憩の確保を確実にする。仕事の進め方(行事担当等)の負担軽減。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
避難車(ノーパンクタイヤ)更新	現在の物はサイズが小さく劣化している。災害時に確実に安全に避難する為にも園児数に見合ったものに更新

令和5年度　北葛西 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	
認 可 定 員	24	27	31	62		144	
受入れ可能※	24	27	29	60		140	※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・食材に直接触れ、知ることで食べる意欲に繋げていく。
・ 野菜の栽培を通して、植物の生長に興味や関心を持ち、給食への意欲に繋げていく。
・体を動かして遊び、空腹を感じる。
・作り手(給食調理員)との交流の実践

2. 保育園目標

養護: 安心・安全な保育園作り
子育て支援: 保護者の気持ちに寄り添い、適したサポートを考えていく。
教育: 子どもの主体性を大切にした保育の実践

上記について、1年間の具体的な取り組み

・感染対策への取り組み
・子ども達の発達年齢を知り、それぞれにあった保育の提供を考え、心身共に健やかに成長出来るように研修や話し合い、情報共有をしていく。
・保護者との日々の会話を大切にし、子どもの姿を伝え、相談や適切なサポートを考えていく。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・保育環境の見直し(保育室、玩具を含め、保育士の関わり)
・職員一人一人のもっている力を発揮し、他者を認められるような関係を築いていく。
・保護者との会話を大切にできるような、職員の気持ちの余裕と意識を高められる様な環境の保障を考えていく。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・感染対策の見直しと実践
・ 情報共有の徹底
・防犯面の強化
・保育活動の工夫(戸外・室内遊びの工夫をして、様々な遊びの提供を考え、子ども達の経験値を増やしていく)

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・扇風機の設置(各保育室) ・屋上、外壁の定期補修	・保育室の換気の循環を良くして、感染防止に繋げたい。 ・区施工工事

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)

令和5年度　葛西第二 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	21	24	26	53		124
受入れ可能※	21	24	25	25	25	120

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・お腹が空く事を体感し、自らが食べたいと思える気持ちを育てる
・野菜の栽培活動を経験したり、絵本や紙芝居などの教材を利用し食に興味を持ち食べる意欲を育てる
・出席数と給食提供数の差異が生じないように努める
・栄養士と連携し在庫確認を行い、無駄の無い給食提供をする

2. 保育園目標

・明るく健康で元気な子
・思いやりのあるあたたかくやさしい子
・自己主張ができ最後までがんばる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・明るく健康で元気な子
園庭やテラスでの戸外遊び、周辺の散歩、リズム運動を毎日の日課にし、食べる事を楽しみ、健康な身体を作る。安全な環境を整える。
・思いやりのあるあたたかくやさしい子
愛着関係を基に優しい言葉かけとスキンシップを重視し、絵本の読み聞かせやわらべうたなど豊かな感性を育む。安心して過ごせる環境を整える。
・自己主張ができ最後までがんばる子
自分の思いをしっかり伝え、相手の思いにも気付けるような人との関わりと様々な活動の中で失敗を恐れず粘り強く取り組む体験（こま・けん玉・縄跳び・竹馬・等）を大切にする。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

1.明るく健康で元気に子どもと共にすごす。
2.子どもに優しく言葉かけをし穏かに関わり、保護者と共にあたたかく見守る。
3.自己主張を受け止め最後までがんばる子どもを保護者と共に応援し見守る。
目標達成の為に上記3点を組織目標にする。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み（利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて）

・毎月園便りで記載しているクラス目標についての記載がわかりにくいという意見があった。クラス担任が子どもの姿や成長をしっかりとらえ、振り返るチャンスにもなるので、具体的で活動例がよりわかりやすい文章になるように意識を持って記入するとともにウエルキッズでもタイムリーに写真と共に目標に向かう取り組みを伝える（4月から行う）
・有休の取得や、休憩時間の確保がきちんとできていないという意見があった。人材確保とクラス配置体制作りはもちろんだが、職員同士の声掛けやノンコンタクトタイム確保の意識の向上を職員全員で行い、協力する事で改善に取り組む。（年間通して行う）

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果（具体的に）
・乳児トイレ温便座工事 ・換気扇取り換え	・保育の環境を整え、乳児が快適に使用できるよう更新

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果（具体的に）
・空調の更新	・1歳保育室の空調更新　経年劣化の為、温度調節がきかない。

令和5年度　　春江　おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	24	27	34	72		157
受入れ可能※	24	27	33	33	33	150

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

子どもの成長において、健康維持に欠かせない食生活で、保育園で提供している給食の取り組みはとても大切である。これまで、新型コロナ感染症対策において、黙食、衝立の設置や食材に触れたり等の食育活動を制限してきたことにより、食べる楽しさや興味が薄れ、残食量の増加に繋がっている。これまで通り消毒や換気の徹底を図り、感染予防に努め食事を楽しみ、会話を交えながら食事マナーを身に付けていく。又、食材に触れたり臭いを感じながら食への興味が深められるようにしていく。

2. 保育園目標

・心身ともに健康な子
・自分を表現できる子
・友達を大切にできる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・友だち関係の中で、相手に対する優しさや思いやる気持ちが持てるよう、普段の遊びや活動時に育めるよう保育士が状況を見極めながら関わっていく。
・1～5歳児を対象に年間36回、体操教室を実施する。
・園庭の使用方法を交代制にし、十分に走り回れたり遊びの展開や活動範囲が広められるようにする。
・年齢に応じて、指示的な声掛けをせず自らが言葉や行動に移せるよう、制作活動や行事への取り組みにおいて課題 を持って取り組んでいく。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

基本的動作の意識向上
・笑顔、挨拶、言葉使い、表情を意識した関係づくり
・保育目標を念頭に、保育計画の策定及び実施
・危機管理意識の向上と実践
・情報の伝達、共有及び統一対応

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・幼児クラスは登降園時に保護者の方にテラスに上がっていただき受け入れをしていたが、保護者との対応や時間短縮により、テラス前での受け入れに変更する。
・園庭側のテラスの表面(ゴム)が劣化し、靴の履き替え時に靴下が破れる事が多く、張替えを行う。
・行事内容の変更について、保護者へのお知らせが遅れてしまうケースが重なってしまったが、今後は通常のスタイルに戻しながら、一定期間前には出せるようにする。
・年齢毎の年間計画が年度切り替え部分での連動が整っていないため、全体調整を行っていく。
・クラス単位で物事が進めれているため、年齢や全体バランスを職員全体で検討し保育内容や行事内容を検討する。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・園庭側テラス	・テラスのゴムシートの表面が劣化により破損個所多数あり、靴下の破れなど多くなっている。安全性や環境改善のため、張替え工事を行いたい。
・エアコンの改修	・定期点検により、運転継続に支障のあるもののついては更新する(6台)

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・制作備品収納棚	・保育教材用品の専用棚がなく重ね置きとなっているため、専用の棚を2台設置し整理をする。
・耕運機の更新	・現状の耕運機の経年劣化、不具合による更新

令和5年度　東小岩　おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	17	20	24	52		113
受入れ可能※	20	21	23	23	23	110

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

子ども達の日常に「お腹がすいた　今日の給食なんだろう！」を広めよう。
・個々にあった適量をしっかりと食べよう。(残食軽減)活動量と空腹、食べ進みの関係性にも着目していく。
・食を使った活動の充実。野菜の栽培、野菜の皮むき、玉ねぎの染め物など。
・給食で家庭とつながろう。食育活動の発信、人気献立レシピ配布など。

2. 保育園目標

・明るく元気に仲良く遊ぶ子
・思いやりのあるやさしい子
・自分の思いや考えを表現できる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・(遊ぶ)　天気の良い日は戸外活動(園庭、散歩)を取り入れ元気な身体をつくる。(食育に繋がる)
・継続性のあるあそびを楽しむ。　(室内あそび・たけうま・なわとびなど)
・(心)　元気にあいさつを交わす。
・縦割り交流を通して、思いやりの心を育む。
・ありのままの自分を受け止めてもらう。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

(法人理念・保育目標を意識した保育)
・職員が同じ方向を向いて保育ができるよう法人理念・保育目標への理解を深める。
(あそびの充実)
・あそび環境の見直し。発達にあった遊びが提供できるように園内研修をし、園全体で取り組んで行く。
(心を交わす)子ども・保護者・職員
・気持ちのよい挨拶を交わす。・感謝の気持ちを言葉にする。相手の心を想像し、相手に寄り添った対応をする。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・利用者アンケートより。昨年度より満足度は良い方向に上昇。その中でお迎え時の伝達について保護者はやや不満を持っている。伝え忘れのないよう伝達共有が確実に出来る流れの確立、そして保護者との会話をする時間が取れる体制作りも課題。子どもの様子の捉え方、会話術なども園内研修で取り入れていく。
・職員アンケートより。重要な案件について実情を踏まえて意思決定し周知しているかの項目が低い。園長会、また園長決定事項について説明周知がなされていないとの回答。職員会議等で口頭でのみならず、書面にして伝えていく。
・職員の意欲向上、良好な人間関係の構築に向けて、会話があふれる雰囲気作り、喜び合ったり弱音を言える関係性を作る。職員の働きやすい環境は必ずよい保育へと繋がる。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・通用門の照明設置 ・1歳保育室　園庭側木製扉設置	・現在の照明の故障修繕と増設。足元の安全と防犯を高める。 ・サッシ戸に木製扉を設置する事で、サッシ戸をあけておいても安全に解放感のある保育ができる。

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)

令和5年度　西篠崎 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	20	23	25	52		120
受入れ可能※	20	23	25	26	26	120

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・食材のありがたさを感じ、三大栄養素などを体に取り入れる事が体のもとになり、生きていく為に必要な事を保育士と給食室の栄養士が子どもたちに伝える。
・栽培等を通して実際に自分たちで食材を育てる体験を通して、食材に興味を持てるようにする。
・子どもたちに伝えた事により、食に興味を持ち、残食を減らすことに取り組み、廃棄ロスを減らす事でSDGsにつなげる。

2. 保育園目標

・元気にあいさつができる子
・思いやりのある子
・感性豊かな子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・保育園周辺の環境が自然豊かである事を最大限に活かし、季節の移り変わりを感じたり、自然に触れたりして過ごせるようにする。
・挨拶を通して、コミュニケーションをとり、子どもや保護者と信頼関係をつくる。
・子ども達が様々なことに興味を持ち、一人一人がのびのびと遊べるスペースや環境をつくる。同様に、玩具の設定も子ども達が自分で好きな事を遊べるよう設定する。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・保育内容の充実
　園児管理システムを活用し、ヒヤリハットの事例検討を行う。各種会議の中で全員が意見を伝えあいみんなで共有し、次へつながる会議を行い、職員の意欲向上につなげる。
・継続的な家庭支援の実施
　地域子育て支援の為、子育てひろばを充実させる。
　在園児子育て支援の為、保育者体験等のプログラムを実施して、保護者との相互理解を深めていく。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・保育園の基本的な考え方や保育内容の説明が不十分な部分がある。どうしても短時間で保護者会などを開催するようになってしまった事も原因のひとつであるので、改めて書面等を配布しながら丁寧に伝えていく。
・人材育成が課題となっている。年度当初の場面で、個人にあった目標や研修計画をより綿密にたて、実行していく。
・個人が研修等で学んできた事や職員同士の学び合い等の機会が少ないので、日付を決め定例化して行っていく。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・園児下駄箱	・開園当初から設置されている下駄箱が、テラスにあり、風雨にさらされ、劣化が激しい為、更新する。

令和5年度　西小岩 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	27	30	35	73		165
受入れ可能※	27	30	31	31	31	150

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・給食を欲するように午前中から身体を十分に動かす活動の取り組みを実践していく。
・園児のもとに給食が届く前のチェック(特に献立のチェックと提供する保育士側のアレルギーに対する意識と周りの声掛け)の徹底を実践する。
・保温給食の提供を行っていく(給食の出来上がり時間と提供時間の差が開かないよう調理現場と再確認をしていく)

2. 保育園目標

・健康で明るい子
・意欲と思いやりのある子
・よく見てよく聞いてよく考え創造性のある子
・最後まで頑張る子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・健康で明るい子→体育遊びを主として日頃の保育の中で身体を動かす機会を増やしていく。
・意欲と思いやりのある子→友達同士やお年寄りそして動植物等に接する機会を増やし労わる気持ちや感謝の気持ち、優しい気持ちが育みむ仲介等をしていく。
・よく見てよく聞いてよく考え創造性のある子→様々な体験をする中で創意工夫や創造性が養える機会を増やしていく。
・最後まで頑張る子→様々な活動の中で直ぐに諦めることなく最後まで行い、出来た喜びや達成感が味わえるよう、個々にあった声掛けを行っていく。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・保育目標の把握と実践→園児、保護者、職員に対し「安心・安全・信頼・協力」のもと心のこもった温かい保育の実践を行うと共に毎月の職員会議にて引き続き確認をしていく
・保育の質の向上→園児の事を第一に考えた保育の実践と共に根拠のある保育と園児達をまとめる力を養う
・保護者との更なるコミュニケーションを深める→日々の登降園時の中で積極的に声をかけていく。
・危機管理の徹底→防災防犯、事故怪我(特に園児の行動把握と登降園の確認)、感染症、情報漏洩、園前での交通事故など危機意識を高めると共に慣れ合いをなくす。
・当園の特色を活かした保育園アピールの実践→体育遊び及び日頃の活動の中で体力向上に向けた保育を進めると共に入園希望者に向けてのアピールを行う。
・近隣、地域、各関係機関との協力体制の構築→各機関との協力体制を構築し園児達にとって安全で保護者にとって安心できる保育園を目指す。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・利用者アンケートでは「登降園での保育士と保護者とのコミュニケーション」が不足しているため、保育士側からの積極的な声掛け(特に毎日の登降園)を今年度も継続し、信頼関係を構築していく。
・職員アンケートでは園舎の老朽化に伴い「保育室内の清掃及び整理整頓の徹底」と「補修等」を行っていく。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・園舎外壁改修(区施工)	・園舎外壁の劣化、防水効果の低下、クラック等が見られるため、(区施工)夏予定

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・乳児室の棚等の更新	・棚(木材)の経年劣化により、かなりの「ささくれ、ヒビ、割れ」等が多数、更新

令和5年度　　松江 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	17	20	25	54		116
受入れ可能※	19	22	24	24	24	113

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・栽培を通して食材に興味を持ち、食べる意欲や食べ残し等食品ロスの軽減を働きかける。
・バランスの良い食事を摂り、健康に過ごす。
・保育の中の絵本、パネルシアター、エプロンシアター、歌等を活用し楽しく食材に興味が持てるようにする。
・日々の献立を発表する事で食材に興味が持てるようにする。
・栄養士や調理士が給食の際、各クラスを周り食材について伝える等して関りを深めていく。

2. 保育園目標

「心も身体も健康な子」「友達と楽しく遊べる子」「自分を表現でき、仲間と共感できる子」

上記について、1年間の具体的な取り組み

・保護者の方と共に生活リズムを整え、基本的生活習慣を身に付ける。
・定期的にリズムや体操を取り入れ身体を動かし身体づくりをしていく。
・日々の喜怒哀楽を感じた時に一つ一つ丁寧に対応し心を育てていく。
・一人一人の個性や発達の特性を深く理解し、発達や年齢にあった遊びや取り組みを計画する。
・子どもが様々な事に意欲を持って取り組めるよう援助する。
・日常の丁寧な保育の積み重ねとして行事を計画し、目標をもった取り組みをすることで、一人一人の子どもやクラス集団が高まった保育をする。又、表現することの良さ、出来た時の嬉しさや達成感を共感し合い、節目のある生活を楽しめるよう促していく。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・保育目標について具体的な取り組みを再確認し保育に生かす。
・職員一人一人が保育に関する課題を持ち保育に望む。
・保育の専門性の強化として、研修に参加し報告から保育の実践に繋げていく。
・職員間の連携の強化として、お互いに思いやりの心を意識し関わっていく。
・職員間等や保護者対応では、報告・連絡・相談を忘れず徹底し信頼と安心に繋げていく。
・保護者対応は丁寧に行う。毎日の送り迎えの際は、子どもの様子や伝達事項を忘れずに伝えコミュニケーションをとる。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・報告、連絡、相談の強化(通年)
・毎日の送り迎えでの保護者への丁寧な対応。朝の挨拶から笑顔で行い、お迎えの際も子どもの様子を必ず伝えていく。(通年)
・保護者の前では、私語は慎む。(通年)
・職員間の連絡事項の周知の徹底。保護者には同じ内容で伝達事項が伝わるようにする。(通年)
・職員の休憩がもう少し取れるようにしていく。(通年)

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・事務室空調機更新工事	・事務室空調機の故障、老朽化により更新

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・園庭用物置	・使用中の物置の老朽化により、小型物置4台更新

令和5年度　　松本　おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	18	26	30	62		136
受入れ可能※	20	24	27	28	30	129

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・野菜を育てたり絵本等を通して食に関心を持つ
・食育活動を通して命の大切さや食材に感謝しながら美味しく食べる
・江戸川区食育キャラクター（ぱくどん・みどすけ・きさく・あかべえ）を使用し栄養について知る
・アレルギー食及び食の提供をする前の確認・職員間の情報共有に努め、安全に提供する

2. 保育園目標

・心も身体も元気な子
・自分の気持ちを素直に表現でき、思いやりの心が持てる子
・話をよく聞き、何事もよく見て、よく考える子
・意欲的に取り組み、最後まで頑張る子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・安全で安心な環境（ひと・もの・こと）のもと、子ども自身が安心感の輪に包まれ自己表現出来る保育
・受容的、応答的な保育士との関りの中で、優しい気持ち・嬉しい気持ちを育て、思いやりの心を育む保育
・個々の興味を引き出す環境（ひと・もの・こと）を大切にし、聞く力・見る力・考える力を育む保育
・活動に取り組む中で、みんなで力を合わせることで子どもの意欲や達成感に繋げていく保育
・活動を取り組む中で、応援してくれる人がいる・一緒に取り組んでくれる人がいることを感じ意欲や向上心を育む保育

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・子どもの思いを中心にした保育
　個々の発達を職員間で共有し、子どもの気持ちをしっかりと受け止め個々の主体性を大切にする
・保護者の状況に配慮した保護者支援
　子どもの思いを共有し、共に育つ喜び・共に育てる喜びを分かち合い、共育（共に育てる）していく
　保護者との信頼関係を大切にし、保護者の悩みに寄り添い、共に考えていく
・チーム保育
　職員一人一人の強みや弱みを共有し、強みを生かし、弱みを支え合える職員関係
　子どもたちの保育・支援はクラスの垣根を超え、園全体でチームとして取り組んでいく
　子どもにとって、そばにいたい・そばにいてほしい保育士となる

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み（利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて）

・利用者アンケートから、安全面に対し、日々の確認を中心に園児・保護者の状況・情報共有し、安全管理を徹底し、保護者との伝達方法を工夫・改善していく。
・職員アンケートから、会議の在り方・内容を工夫・改善していく

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果（具体的に）
・裏テラス柵 ・砂場枠 ・砂場のオーニング	・裏テラスから裏門まで境がなく危険なため ・老朽化、また出入りの際に躓く危険性があるため ・老朽化により作動しにくくなったため

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果（具体的に）

令和5年度　　清新 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	20	23	28	58		129
受入れ可能※	23	25	26	28	28	130

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・季節の食材を取り入れた給食の提供、素材の味を知り、口に届くまでの、食べ物の大切さを学ぶ。
・食材や献立に関する情報を子どもたちと共有し、食べ物や給食に関心を高める。
・調理する人との関わる機会を設け、調理する過程を知ることで感謝の気持ちを育てていく。
・食育活動を通し、食べ物に興味を持ち食べる意欲を育てる。活動の内容を保護者に知らせ、掲示する。
・子ども達が楽しく食事ができる環境を整え、友だちと一緒に楽しく食べる。

2. 保育園目標

・ 元気でのびのび遊ぶ子　・よく見・よく聞き・よく考える子　・友だちを大切にし、思いやりのある子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・ 園庭や公園などを活用してたくさん身体を動かして遊ぶ
・年齢に応じた室内での運動遊びを行って行く
・リズム遊びを日々の保育の中に取り入れる。
・子どもたちの声に耳を傾けて話を聞いたり、子どもと一緒の観察したり、 子どもの興味関心を引き出す。絵本や図鑑などを活用して知らない事を見たり聞いたり、考えたりする。
・異年齢を通して、小さい児に優しく接したり、年上の児から遊びや様々な活動から良い刺激を受ける事で相互育成に取り組む。
・子どもたちのやってみたい、不思議だなと思う気持ちを大切にする。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・子どもたちの興味関心に気づき、主体的に遊べる環境を整える。身体をたくさん動かして遊べるように、園庭遊具や室内の器具などを整える。季節ごとに絵本を変えたり、成長の応じて室内の環境を変えたりし、子どもたちが生活しやすいように職員全員で、話し合う機会をたくさん設けていく。
・保育士が余裕をもって保育を楽しむことで、子どもの気持ちに寄り添い、子どもの声に耳を傾けることができるので、保育士同士が声をかけあったりコミュニケーションをたくさん取りながら保育を進めていく。子どもたちの成長を職員同士で喜びあい、互いの保育を認めて褒めていけるようにしていく。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・安全に関して、登降園の鍵が開いていることが多いとのこと、朝の時間帯で門の施錠が開いていることが多く見られ、出来るだけ門に立ち、保護者に意識、確認もしていただくよう声をかける。
・子どもの様子等、職員よっては上手に伝える事が行えていない事もあり、保護者への伝達等、対応についての園内研修を行う。
・すべての職員が、保育園の目標に沿って園を運営していく意識を高め、話し合う時間を作り、同じ方向に向いていけるようする。
・報連相について、今年度基準を作った。その基準に沿って行くと共に、改善や追加をしていく。保育の振り返りを日々行うことが出来ない現状のため、ドキュメンテーションを取り入れ、日々の保育を振り返る時間を作るようにしていき保育の質を高める。
・経験年齢別に園内研修に取り組んでいるが、内容が不十分な為、計画を立て実施する。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果、時期、費用等(具体的に)
・園舎周囲の陥没箇所の対策 ・園庭水道周り補修	・害獣の出入り口になっていて不衛生な為、検討する ・コンクリート部が剥がれ危険なため補修する。

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果、時期、費用等(具体的に)
・乳児クラスの付き棚 ・乳児トイレの仕切り	・コーナー遊びを充実させるため ・羞恥心を考えて設置したい

令和5年度　小松川 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	24	25	27	53		129
受入れ可能※	24	25	27	27	26	129

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・給食業者と連携を取りながら、給食の食材を子どもたちに見せたり、触らせたりして食に興味が持てるようにする。
・絵本や紙芝居などを通して食べ物に興味・関心を引き出す。
・夏野菜の栽培を給食によく出るものにして、子ども自身が育てた野菜を食する経験をする。
・苦手なものでも挑戦してみようと思える声掛けを保育者が行う。
・家庭と連携を取りながら、スモールステップで食べられる喜びを得られるようにする。

2. 保育園目標

・心も身体も健やかな子
・思いやりのある子
・自分に自信の持てる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・子ども一人一人がその子らしく健やかに過ごせる環境を提供する。
・自然環境豊かな地域性を生かし、身体を沢山動かし伸び伸びと過ごす。
・身近な大人に温かく見守られながら、子どもたちが意欲的に取り組めるようにする。
・様々な関わりの中で自分の思いを汲みとってもらう事により、他者に対する思いが芽生えるようにする。
・子どもの自己肯定感を高める言葉かけを身近な大人が適切に出来るようにする。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・子どもの人権を守り、一人一人が自己肯定感を持てる保育を行うとともに快適な保育環境を提供する。
・保育の中で「受容」と「応答」の重要性を再確認し、保育を見直し、より良い保育をしようと努力する。
・保育者の所作や言葉かけを十分に留意して保育を行う。
・保育中のエピソードを的確に伝える事で、保護者と信頼関係を築く。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・防犯に対する不安があり、特に園庭門が故障した状態(暗証番号を入れる仕組み)が数年続いていることが不安であると指摘。暗証番号が入力出来る門またはそれに代わる門にする。
・職員の言葉がけに個人差があり、保護者によっては挨拶もないという表現もあった。決して挨拶をしない職員はいないが、表現の仕方が苦手な者もいるので、それぞれの持ち味を生かした対応を工夫して行えるように園内研修を行っていきたい。
・多様な保護者(国籍、人種が様々)が多い中で伝えた事が伝わらない、取り方が違うなどで苦慮しているが、丁寧に根気強く関わっていく。
・職員は協力し合う気持ち、チームの一員としての職務を全うすることの大切さを研修等で学んでいく。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・園庭門の扉の取り換え ・天井の雨漏り	・保護者には防犯に対する安心感を与える為、暗証番号付きの鍵をつける。 ・完璧な改善は難しいが、維持していくためには必要である。

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・コーナーキッチン(ままごと)	遊びの充実を図るために更新

令和5年度　南葛西 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	16	23	25	54		118
受入れ可能※	18	22	23	22	23	108

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

日々の生活の中で、子ども達の食への関心が薄れている様子があり、残食が多い状況にあった。子ども達の食への意欲へと繋げる為に、子ども達が安心、安全に過ごせる環境作りと遊びへの意欲を大切にし、心掛け、伸び伸びと身体を動かしながら遊び、活動量を意識的に増やしていく。また、生活リズムの大切さを保護者周知し「おなかのすくリズム作り」を保護者と共に意識していく。
子ども達の好奇心を大切にした野菜栽培の体験を通して、自然の豊かさを感じながら、食材への興味や関心を促し、健康な身体作りや環境への意識に繋げていきたい。

2. 保育園目標

・ありがとうのこころ
・かんじるこころ
・やってみようのこころ

上記について、1年間の具体的な取り組み

・子ども達の心身の発達を促すため、安心安全な環境作りと情緒の安定を意識した言葉かけや環境設定を行っていく。
・保育の中での野菜作り体験を通して、給食が提供されるまでの工程を知り、調理員との関わりや触れ合いにより、作ってもらった喜びを感じながら人や物、出来事に感謝する心を育んでいく。
・戸外でのびのびと体を動かして遊んだり、興味のある玩具を見つけながら遊び込みながら他児との関わり、子ども達の思いに寄り添い、主体的に遊べる環境設定の見直しを行っていく。
・子どもたち自身が、遊びや様々な事柄を自ら選択できる機会を作りながら、自分で進める体験を通して、意欲や達成感が味わえるように寄り添っていく。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・野菜作りの体験を通して食材を知り、興味を促しながら、給食が出来るまでの工程や調理をする人への関心を広げ、作ってもらって食べる喜びを大切にしながら食へ繋げていく。
・「おなかのすく生活リズム」を意識し、戸外でのびのびと体を動かして遊べる機会を心掛け、子ども達のこころを動かす遊びの環境作りをする。
・子ども達が遊びを選択しながら楽しめる環境作りを心掛け、子ども達の意欲を育んでいく。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

利用者アンケートにて降園時の声掛けについて端的との声があった。コロナ禍において、状況により対応が変化する中、職員と保護者とのコミュニケーション不足が感じられている。毎日の声掛けを挨拶だけにせず、子ども一人一人の様子を一言添えて、保護者と関わる習慣作りを徹底していきたい。また職員より要望がある研修参加の為の時間の確保等、改めて職員間にて話し合い、研修の充実を図りながら保育の質の向上に努めていきたい。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・廊下壁張り替え工事	・環境と経年劣化により破損。園児の安全、安心の為にも張り替え

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・パーテーション ・保育室玩具購入 ・園庭用玩具、運動用具購入	・園児の羞恥心保護の為パーテーションを新規購入 ・経年劣化による玩具の買い替え ・経年劣化により玩具、三輪車の買い替え

令和5年度　西葛西 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	25	26	27	60		138
受入れ可能※	25	26	26	27	27	131

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・絵本や紙芝居、パネルシアター等を使用し、子ども達の食に関する興味や関心を高めていく。
・野菜等の栽培や食材を直接見たり触れたりする経験をすることで、苦手意識を減らしていく。
・食事の時間が楽しくなるような声掛けや雰囲気作りを心掛ける。
・年齢に合わせた食育活動を工夫し、取り入れる。

2. 保育園目標

・心も身体もしなやかで健康な子　・自分を表現でき、仲間と共感できる子　・チャレンジできる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・基本的な生活習慣が年齢に応じて身に付くように、個別に配慮をし、家庭と連携しながら進めていく。
・食育や運動遊び、リズム等を取り入れ、丈夫な身体づくりをしていく。又、様々な体験を通し、子ども達が感じた気持ちを大切にする。
・子ども達が安心して自分の思いを表現できるよう、個々に対する理解を深め、信頼関係を築いていく。
・友だちや保育士との関わりを大切にし、コミュニケーションの力が育つよう仲立ちしたり活動の工夫をしたりする。
・一人ひとりを認め、自己肯定感が高まるような関わりを心掛ける。
・子ども達の興味関心事をキャッチし、遊びが深まる様、環境構成に力を入れる。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・保育園目標の内容を改めて見つめ直し、一つひとつの理解を深め、全職員で共通理解をする。
・自分の保育、クラスの保育の振り返りを日々丁寧に行う。
・子どもの気持ちに寄り添い、保護者の思いを聞き、共に考えながら、子育てを支援していく。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・園庭門の門扉移設、又は交換改修工事の実施　(9月までに)
　現在幼児クラスは園庭門から登降園しているが、鍵が閉まり難いこともあり、保護者からの意見も多かった。より安全対策が強化出来るよう改善する。
・会議の行い方や内容の見直し
　乳児・幼児間での情報共有や、事務仕事、休憩時間確保等のためにより良い方法を検討する。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・園庭門の改修 ・園庭の排水溝清掃	・現在の門は鍵や高さの面で心配な為、高さの検討を行い改修 ・テラス前やプールの排水が詰まり、溢れやすい為。

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)

令和5年度　中葛西　おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	27	28	28	56		139
受入れ可能※	27	28	28	28	28	139

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・食材に興味が持てるような題材(絵本・紙芝居・郷土料理・他国の料理)を取り入れる。
・夏野菜を育てたり、調理に関わる事で興味を持ち、食べる意欲を育む。
・保護者の方に園での取り組みを伝え、家庭での様子を伺う。

2. 保育園目標

・元気に仲良く遊ぶ子
・思いやりのある優しい子
・自分の思いや考えを表現できる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・運動遊びを通して基礎的な体力作りを行う。
・給食を通して食材に興味、感心を持つ。
・友だちや周囲の大人との安定した関わりの中で、互いの考えや思いを認め合う体験を通して、多様性を受け入れる事が出来るように配慮する。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・職員自ら食に関心を持つ。
　各クラスの取り組みを共有し、自己評価を行う。　・おたよりや掲示を通して保護者に発信する。
・上記を踏まえた健康的な身体づくり。
　発達を考慮した運動遊びを、保育の中で継続的に取り入れる。
・保護者の方との信頼関係を深め、家庭支援に努める。
　保護者の方に寄り添い、保護者の方にとっても保育園が安心する場所となるよう、心掛ける。

3. 今年度改善したい事に対しての取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・園の取り組みや保育に関する思いを保護者の方に伝える。
　保育園運営の理念や苦情解決の方法(第三者委員)について、引き続き周知していく。
保育や園の対応に関して、保護者の受け止め方に違いがあるので、ご理解頂けるように周知の仕方を工夫したり、伝える努力をしていく。
・月反省にて保育の振り返りは行っているが、保育に関して共通の認識を持つ事が出来るように園内研修等行う。(例:1つの事例に対して皆で考える。異年齢交流を通して、保育士の援助について考える等)

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・園庭放送器具	・備え付けスピーカーを使用しているが、保護者の方のアンケートでも聞こえずらさが指摘されており、適した場所に設置出来るようにしたい為。

令和5年度　　松島 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	19	21	25	52		117
受入れ可能※	18	21	22	23	23	107

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・楽しい雰囲気の中で食事をし、食への興味が持てるようにしていく。
・食育活動を通し様々な食材に触れたり野菜等の栽培をすることで、食べる意欲へと繋げ残食を減らす。
・誤食を防ぐ為、アレルギー児への理解と食事提供の仕方を職員間で共有する。
・給食室との連携を図り、食育活動や子どもへの声掛け、安全な給食提供への理解と協力を得る。

2. 保育園目標

・心身ともに健康な子
・思いやりや感謝の気持ちが持てる子
・よく見てよく聞きよく考え行動できる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・運動遊びや散歩を充実させ、体力の向上を図る。主体的に遊べる環境を整え、遊びが充実するようにする。
・手洗い、うがい等の指導を丁寧に行うと共に、園内の清掃、消毒を行い感染症等の予防に努める。
・子ども一人一人の気持ちを愛情をもって受けとめ丁寧に関わっていくことで自己肯定感を高め、人への思いやりや感謝の心が育つようにする。
・生活や遊びの中で、子どもの思いや自発的な行動を受けとめ認め、自信をもって積極的に行動できるようにする。
・様々な事象への興味や関心に対し、子ども自らが考えたり話したりできる環境をつくる。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・保育の充実と質の向上
　子ども一人一人の気持ちに寄り添い、安心して伸び伸び過ごせる環境を考え整えていく。
　興味、関心を持っている、夢中になっている事を見極め、子ども主導の遊びが発展し充実する環境作り。
・会議、園内研修の充実
　思いや意見を出し合える雰囲気作りを心掛け、積極的に参加する。
　保育内容に関すること、危機管理、安心・安全な保育について職員間で共有できるようにする。
・丁寧な保護者対応
　日々のコミュニケーションを大切に取り組みや様子を伝える事で保育活動への理解を得られるようにする。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・通園門の安全管理を徹底する。保護者への門の開け閉めに対する理解と協力を得る。又、職員の安全に対する意識を高めていく。
・登降園時の保護者への声掛けを丁寧に行いコミュニケーションを図ると共に、日々の保育活動や子どもの姿を写真等も利用しブログや保護者アプリ、おたより等で定期的に情報発信し、園の様子の見える化を図る。
・コロナの状況が緩和傾向にある為、行事の取り組み(参加者、異年齢児交流等)を検討、計画する。
・会議内容の見直しをすると共に、各会議の目的を明確にし必要な話し合いを充実して行えるようにする。
・職員間での情報共有、報告・連絡・相談をしっかりと行う。職員同士のコミュニケーションを大切に、話しやすい雰囲気作りをする。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・園庭の整備 ・園庭等放送設備設置 ・各保育室網戸補修	・転倒等、危険を防ぐ為 ・緊急時の一斉放送への対応 ・劣化により開閉が困難、又、網の破れも目立ち修復が困難な為

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・避難車 ・各保育室カーテン	・追加 ・劣化、窓に合わないカーテン使用の為、合ったものを購入

令和5年度　清新第二 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	22	23	23	46		114
受入れ可能※	22	23	23	23	23	114

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・園内（サンプルケース横）に「今日の食材の栄養素」のボードを作成し、子ども達や保護者も栄養を考えたバランスの
良い給食から食に対する興味、関心、意識が持てるよう、楽しみながら取り組む。
・絵本の読み聞かせや野菜の栽培等を通し、食への興味を持ち苦手なものでも食べようとする気持ち、調理の様子を見る体験（ガラス越しに）から、食べる事の幸福感、給食に携わる人たちに対する感謝の気持ちを育む。

2. 保育園目標

・元気に遊ぶ子
・思いやりのある子
・よく見て、よく聞いて、よく考える子
・最後まで頑張る子
・自分に自信が持てる子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・子どもが主体となり伸び伸びと遊べる工夫（遊びの芽が広がる、夢中になれる環境、今必要な体験は何かを考える）
・豊かな経験、遊びを通じて自ら育とうとする力を支援する（やってみたい気持ちを大切にする、沢山の発見を楽しむ）
・日々の生活の積み重ねを大切に、行事等では一人一人が自分の成長を感じ達成感を得られるように取り組む

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・日々の生活の積み重ねを大切に、子どもの幸せと成長・家庭との連携・保護者の喜びに繋がるよう、心のこもった保育の実践を目指す。
・保育を通じて職員一人一人が子ども達の成長を感じ喜び、職員自身の成長が園全体の質の向上、働き甲斐に繋がるような組織を目指す（保育者自身も楽しいと思える保育）

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み（利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて）

・園生活の中での子ども同士のトラブルには、状況やそれに対しての対応を丁寧に保護者に説明する。そして、職員間でも状況の共有を徹底する。
・職員一人一人が、担任以外のクラスの日々様子を、保護者に伝え、られるように意識していく。（第三者評価の結果では評価が低かった。園児管理システムの機能を活用し、直接話をすることで、コミュニケーションも大切に、実践していく）
・子ども、クラスの様子を、全ての職員が共有できる場、クラスの抱えている悩みや聞いて欲しい事を話せる場を設ける（月反省等の定期的な会議の実施）

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果（具体的に）
・園舎外壁塗装、屋上防水	・区施工

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果（具体的に）
・避難車	・現在使用している物の、劣化（床面が壊れて危険な為）日常の園外活動（散歩など）や災害時に使用する為

令和5年度　北小岩 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	15	23	25	51		114
受入れ可能※	15	23	25	25	26	114

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

栄養価、食材など細かく考え、工夫して下さっていると思います。現在、黙食と言うことで、会話しながら食べたり顔の表情も分かり難いこともあり、食事の取り方が変って来ているためなのか、残食糧が多いようである。そして子ども達は、見た目の盛り付けや献立で食事量も変わるのでそんな工夫も大切にしていきたい。又、全員が一律の量ではなくお代わり分の確保を考え、残食糧を減らす工夫をしてみても良いのではないか。

2. 保育園目標

・明るく元気に遊ぶ子ども
・思いやりのある優しい子ども
・感性豊かで意欲のある子ども
・よく見て、よく聞いて、よく考えて行動する子ども

上記について、1年間の具体的な取り組み

・明るく元気に遊ぶ子ども
　法人理念を保育の中に取り入れ、特に心身ともに元気に過ごす事を強調したい。
・思いやりのある優しい子ども
　特におもいやりのあると言う文言を皆が理解して伝えていきたい。
・感性豊かで意欲のある子ども
　日常生活の中で疑問に思う事など大切にしたい事などコミュニケーションをとり、発展させていきたい。
　各行事の取り組みも理解しながら成長に活かしていきたい。
・ よく見て、よく聞いて、よく考えて行動する子ども
　日々の行動をとうして、目、耳、脳、手、足を刺激する事により、五感を刺激していく。

3,

・園内研修の充実
　副園長、副主任を中心に各研修(キャリアアップ)(コーディネーター研修)など体験したことを時間をかけて発表し、それを踏まえて検討していく場をもうけていきたい。
・職員同士の意見交換
　新卒採用者や異動職員が多かった事もあり、指導を大切にしていかなければならない。北小岩おひさま保育園の求める目標むけ、経験者が積極的に援助していく事が大切である。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

利用者アンケートは満足度が高く、「優しく見守ってくれている」「丁寧な対応している」「成長に合わせてイベントに取り組んでくれて本人の良い刺激となっている」「食物アレルギー対応があるのが有り難い」等の意見について、今後も継続していきたい。他に職員の対応には偏りがあり、指導不足は反省点である。その他「自転車置き場が欲しい」「連絡帳は各園児全員必要」「園の動画がもっとみたい」等については、今後検討していきたい。
職員アンケートは、園での理念が分かり難い事がある。ということが分かったので来年度の目標はそれらを踏まえて、1年間の取り組みに生かしていきたい。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由いと効果(具体的に)

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・園庭倉庫の更新	現状の倉庫の老朽化による破損があり、更新

令和5年度　南篠崎 おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	20	23	24	48		115
受入れ可能※	20	22	23	23	23	111

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・野菜の栽培等、食材や食に関わるの体験を重ね興味、関心を持ち「いただきます」の感謝の気持ちや体作りに必要な食事の大切さ、楽しさをわかりやすく伝えていく。
・生活リズムについて家庭と連携を図りながら「お腹がすいた」という体感が得られるよう積極的に身体を動かす活動の充実を図る。
・毎日の給食、行事食等を通しさらに興味や関心が持てるような環境作りや食事の提供のタイミング等、給食室との連携を図る。

2. 保育園目標

・元気に遊べる子
・心豊かな子
・考えて行動する子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・日々の生活や遊びの中で戸外遊び、散歩、リズム遊び、運動遊びなどを通し心身の発達や成長を促し個々に必要な支援、援助を丁寧に行う。
・一人ひとりが自分の好きな遊びをじっくり楽しめるような環境を作り友だちや保育士と関わる中で満足感が十分に味わえる環境を大切にしていく。
・保育士が傾聴の心を持ち子どもの気持ちに寄り添い情緒の安定を図り一人ひとりと十分に向き合っていく。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・子ども一人一人の発達を理解し個性を認めながら気持ちに寄り添い、情緒の安定を図り信頼感や自己肯定感が育まれるよう愛着関係の形成を大切にする。
・子どもの発達や成長に沿った環境づくりを行い、子ども達が安心で落ち着いて過ごせるように整えていく。
・職員同士が認め合いチームワーク力の向上と強化を大切にし共通認識や理解、報告、連絡、相談を徹底して行っていく。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・保護者の気持ちに寄り添い、共に考え連携を図る中で個々に最適な援助等を行いさらに信頼関係が深められるよう対応していく。
・お迎え時の伝達について担任以外の職員が対応することもあるが全職員が意識しながら丁寧に対応する。
・職員一人ひとりのスキル差はあるがそれぞれの課題を明確にし自己研鑽や園内外の研修などを通し知識を深め保育の質の向上のために取り組み知識の共有を行う。
・業務遂行のための各種会議の重要性を職員が理解できるように実施方法や内容を検討、また社会人としての挨拶やマナーをしっかりと理解し実践していく。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・保育室入り口ゲート	・2歳児保育室　子どもの飛び出し防止のためのゲート設置を行う。

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・午睡用ゴザの入れ替え ・多目的ひな壇	・区立保育園時より使用しているため午睡用ゴザの痛みが激しいため ・日頃の保育や行事などで使用するため

令和5年度　　新田　おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	18	20	20	40		98
受入れ可能※	20	20	20	20	20	100

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

「残食を減らす」
・SDGsについて子ども達に伝えていく。
・給食も保育であることを職員が意識できるよう園内研修を行う
・子ども達が「食べる」ことに意識を向けることが出来る保育(給食時間)を、日々の保育プランの中に取り入れ実践する

2. 保育園目標

「ありがとうのこころ」
「かんじるこころ」
「やってみようのこころ」

上記について、1年間の具体的な取り組み

・人、物、出来事のどんなに小さなことでも感謝する気持ちを持ち、職員自ら感謝の気持ちを声に出すことで子ども達にも感謝のある生活を伝えていく。
・子ども達の持っている力(五感)を使った保育や、友だちとの生活で味わうことのできる喜怒哀楽を存分に体験できる保育を展開し、一人ひとりの心に響く関りをする。
・子ども達の日々の姿や対話から保育環境を整え、興味を持つ→質問する→やってみる(やらない)を自分で選択することが出来る保育をすることで、子ども達の学びへと繋げていく。

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・ワクワクする保育の展開・・・保育士自らが保育を楽しみ、遊びを通して子ども達がワクワクする体験を増やす。また、自己評価を徹底して行い明日への保育に繋げる。
・助け合い、向上しあえるチーム作り・・・、常に「相手」を意識したチーム作りをするために、職員間の「報連相」を徹底し、意見交換が出来るチームを目指す。また、子どもの話題で笑いあえる職場環境を整える。
・危機管理意識を高める・・・子ども達の「命と心を預かる」という責任感を高め、危機管理の意識を強化する。丁寧な保護者対応も今まで以上に徹底し、保護者にも保育や、危機管理など園内の情報を透明化していく。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

利用者アンケートで　①外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられているか60%　②子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか70%　③利用者の要望や不満はきちんと対応られているか80%　と3つの質問に対しての「はい」の回答率が低かった。特に①に関しては、入園説明会や4月の園だよりで必ず伝えているが伝わっていない。伝え方を変え知らせていく。また、評価者からのコメントで法人の理念、方針、目標がそれぞれ明確になり、園の目指す保育の理解が進むことを期待するという点では、法人全体で見直しを進めているため、今後明確なものを保護者にも周知出来るようにしていく。その他のアンケート結果ではとても良い評価をいただいている。保護者対応や子どもとの関りについて評価していただいた点を更に向上出来るよう、人的環境を整えていく。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・排煙窓の取り換え ・1歳児クラスの改修 ・園庭水道亀裂修繕	・区施工　排煙窓の大規改修 ・環境整備　1歳児クラスの生活環境の変更、(生活するスペース確報) ・環境整備水道周りの改修工事

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・クラス、仕切り棚の購入	1歳児クラスの改修に伴い必要な棚を購入する。

令和5年度　宇喜田　おひさま保育園　事業計画(案)

令和4年12月

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
認 可 定 員	17	19	22	50		108
受入れ可能※	17	21	22	25	25	110

※旧運用定員

1. 法人保育園の共通の取り組み

SDGsを踏まえた「安全で安心なおいしい給食」の提供

上記について、保育園での具体的な取り組み

・給食室との連携を密にし確認をとりながら安全に提供できるようにする(アレルギー食の事故防止の徹底)
・健康、衛生面に十分気を付け、子ども達が健康でおいしく食べられるようにする
・栽培や食育経験、日々の生活や遊びの中で食材の関心を深め興味を育めるようにする
・食事が食べられることのありがたさや命を頂くことを知り、食事の大切さや感謝の気持ちを持てるようにする
・身体を動かす等、活動を充実させることで、給食が心待ちになるようになるような環境を作る
・残食を作らないために、事前の休みなどを把握し、共有する
・SDGsの紙芝居や絵本を活用し、分かりやすく学ぶ活動

2. 保育園目標

・心も身体も元気な子
・想像力豊かな子
・友達と仲良く遊ぶ子
・よく見て聞いて考える子

上記について、1年間の具体的な取り組み

・正しい生活習慣を身につけ、健康に過ごす
・園庭や散歩で自然に触れる
・十分に身体を動かす活動を通して健康な身体作りを意識する
・好きな遊びを存分に楽しめるよう環境を整える
・静と動の活動を取り入れながら、充実した園生活を楽しめるようにする
・日々の活動や行事の中で本物に触れる経験や体験を大切にしていく
・様々な活動の中で、友達との関わりを深め、相手を思いやる気持ちを育む

保育園目標の達成の為、職員の保育園組織目標

・発達年齢を理解し、個性を大切に出来るように職員の学びの場やスキルアップ出来るような機会を作る。
・主体的な保育を進める中、子ども達の体験や経験を積み、想像力を養えるようにする。保育活動に変化を持たせ、五感を刺激出来るように工夫する。
・チームワークを大切にし、助け合い様々な意見を出し合いながら楽しい職場環境の向上に努める。

3. 今年度改善したい事に対してに取り組み(利用者アンケート、職員アンケートを踏まえて)

・戸外遊びや散歩の拡大増として、年間を通して積極的に戸外へいく事を意識し実行していく。
・担任以外の職員の保護者の伝達事項の拡充として、「今日も元気でした」という言葉だけではなく、合同保育時の様子や天気や気候の話など、保護者との言葉のやり取りをするよう意識。
・送迎時に園庭門が閉まっていないことが多いため、安心安全のため保護者会で伝え理解して頂き、保護者の意識を高めてもらえるようにする。
・こまめな人数確認を行っている等、安心していただける保育園づくりの為、おたより機能等で保護者にアピールする。
・どの職員も月に1回は有休を取れるような形を作っている。その形は今後も続けていく。
・子どもにだけでなく、大人にも意識的にポジティブなやりとりや声掛けをすることでお互いに認め合い、コミュニケーションを深め、意慾的に働ける気持ちが持てるようにしていく。

4. 施設改修計画

場所、内容	改修等の理由と効果(具体的に)
・コンセントの増設	・コンセントが不足、タコ足配線になっているため安全で使いやく増設

5. 備品等購入計画

備品の内容	購入の理由と効果(具体的に)
・運動用品 ・防災頭巾ケース(各クラス分) ・楽器、楽器スタンド類 ・上履き入れ	・体力づくりに繋げるための運動用品の購入 ・防災頭巾ケースが劣化しているため ・表現活動をより楽しむため購入 ・部屋を移動、避難時にも活用していく為購入